在魔女糖 3

日本側/中国側投入実権一覧表 (専門家派遣及び機材供与ーその1)

	水村~	年 1993年(H5年	(±	1994年(H6年)	1995年(H7年)	1996年(H8年)		- 98件(王
型	:		1112 1 2 3	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 8910:112 1 2 3	4 7 10 3	
<u> </u>	な大〇	任			2/3			3/4
	大日子の日日	公男(凝唱分析)		2/27		2/26	; ;]	¹
	ながら	世(城昭核湖)		2/27		-	再级设4/15	w_
•	(B) (B) 大国村	智服(義務4年)			(知思一成签门预区95/5/26-96/9/26)	-96/9/26) - 4/1		
	(5) 群神		1/27					
敝	(三)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)(二)<	鼷	1/20	1/1				
	の来の	=	1/20	— 5/20				
	安中〇	(株)	's	′18 —— 8/3				
¥.	ŧК	•		6/1 7/31				
_	⑤矢原:	日治(仲親裁結)		7/7 - 8/14	,			
	海 60 4 技	#		6/23 9/19				
—— ₩	の称為	1 1 1 1		8/23 11/19				
	東大圏	(1,1,1,1,1) 世状		9/15 12/12				
	@# #	経展(おけー製物)		10/30 - 11/4	***************************************	: -		
岸	成 日 山 日 に 日 に 日 に	定男(セミナー講師)		10/31 - 11/5				
	SX#	近以(七六十一解語)		10/30 11/5				:
-	(() 編化)	田敬(七二十二年時)	:	10/30 - 11/5				
	日本は日	轲		11/21 12/3	:			
=	· 米車⊖	行為(品質問題GMP)	(6		5/26 — 6/3			:
	○蘇任) 投資	·		Ĭ			
		每男(年物料用限)			6/1 - 7/31			
	# (Tin (Tin (Tin (Tin (Tin (Tin (Tin (Tin	政郎(生物化学)		;	10/15 - 11/12			:
	の大野	ĭ		,	3/28	5/3		
	種原	世	(4/3			
	4	料(年			9/1 11/30			
	(B) II (B)	原信夫(生聚規格)	<u></u>		11/16 12/15		. :	
	の古井銭米	我来(承 强)			11/16 12/15		,	
	合ん権が	(品語-十二)對於集			11/5 - 11/12			
	⑤ 依 析:	光明(七十十二年四)			11/5 — 11/12			
	(A) A) L	〇七二 光(早回記載)			8/30-9/6		:	:
_	# + 6	せることのなか			1/7	26/20		

No.

日本側/中国側投入実権一覧表 (専門家派遣及び機材供与一その2)

993年(H5年) 5 6 7 89101112 1 :	23 4 7 10 3	95年(H7) 4 7 103	1996年(H8年) 456789101112123	1997年(H9年) 456789101112123	1998年(日)0年) 4.5.6.7.89101112.1.2.3
: 所有成少) 张: 较什忿) 魏也(故) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			6/11 — 9/6 7/8 — 8/31 9/12 — 11/2 8/30 — 10/5 11/30-12/20		
() () () () () () () () () ()			•		
8分析) グランステム版(け) で第 路(け) イクロプラードコータ 一名	(†).			- 5/17-5/26 - 5/17-5/26 - 5/17-5/26 - 3/18-8/27	
(城田) (四湖湖)				- 5/24-6/21 - 5/14-5/22	
《服業物の期)8分析: 何代兴思)				7/1-8/31	
8) 8.女体型) 7.女)				7/15-9/14	
1.解码: 和方孙〉 1.解码: 花舟鄉〉				9/21-9/26 9/21-9/26	
法国田本藤田川川姆路 并永藤田崎田宋宮原禄野川野建田寛和文雄義雄幸幸 能 多幸辛良和正無尚魏安川和三子淮司幸之二批男 第史基洁某子真雄治味仁夫都,任行生生变效。他也也也 1900分割 1910分,1910	商力(任政(公) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	議、五百成分) (世末: 数生物) (世末: 数生物) (四: 建模数型) (四: 建模数型) (四: 建碳的) (十-鞣等) (大-鞣等) (大-球等) (大-大)(大-大)(中) (大分が, 上)(中) (大分が, 上)(中) (日)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)	É	6/11	6/11 — 9/6 7/8 — 8/31 9/12 — 11/2 8/30 — 10/5 11/16 — 12/14 10/27 — 11/2 10/27 —

华

日本側/中国側投入実<u>権一覧表</u> (専門家派進及び機材供与一その3)

9 8	3年(H5年) 6789101112123	94年(H6) 4 7 10 3	95年(H7) 4 7 103	1996年(H8年) 456789101112123	1997年(H9年) 456789101112:23	1998年(H10年) 456789101112:23
(K) (2)	(联码股份和)(指令处理分析)				10/1-10/15	
対対が	[五]				11/21-12/19 12/6- 12/19	manuse france to 17 miles
KK	(東西:免疫海性)				2/28 —	3/30
報報	故女存期) 故女衣用)					- 4/5-4/11
· • •	被技术的					- 4/5-4/11 - 1/5-4/18
72)白霜黄条黄(紫蓝)23)乙烯闪四 (于72)乙烯闪四 (于724)延葡石牌小(汽车	4. 最 2. 0. 1. チープド・ハ・イチ・) 抗 生 数 質)				4/10 4/10	8/91
₹ ₩	(財務)					98/6/26-8/14
() () ()	(Set					98/6/26-7/24
(## (##	寂略之走 10					98/7/1-7/31
韓等	4年2)					98/7/1-9/1
) に 注	花纸卷】)					71/0-9/8/90 —— 21/0-9/8/90 ————————————————————————————————————
まま (で)	唱の控う					98/7/28-8/27
N. 新 H 整	5. 我们是一个"我们"					98/7/30-9/29
(張)	棄物処理)					7/28-9/5
배	લિ					1 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
# H	語: 					97-17/6
11 ii		_				-9/21-26
4 4	1	:			: .	9/21-29
(英理/動物	動物飼育メンテナンス)					
国 好)	/ 临林中温图)					

日本側/中国側投入実績一覧表 (専門家派遣及び機材供与ーその4)

(A)	并匹	 1994年(H6年) 1995年(H8年) 1995年(H8年) 1995年7月収在(H8年) 1994年7月収在(H9年) 1994年(H8年) 1994年(H8年) 1995年(H9年) 1994年(H8年) 1995年(H9年) 1997年(H9年) 1997年(H9年	•
平 中			4279753

○消耗品		
1.4シン機械 単近路		
(クロマトグラフ		
- 問題 道		
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	* } * \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$
		-
	ン海米型に路口マトグラフ東道元路	

日本側/中国側投入実績一覧表 研修員受入、現地活動経費、相手国側投入実績、その他一(その1)

, GI	字字	1993年(H5年) 4567891011121	23 45678910111212	1995年(H7年) 3 4 5 6 7 89101112 1 2 3	1996年(H8年) 456789101112123	1997年(H9年) 456789101112123
	事5661		9/22	故等(范仲祿) 英国(GO-JMS)		,
数 . 传 数	1994 25 25 4			3.29 8/7	周文部(生物型用项) 形成(生然数构) 种溶生(七代4) 数文基(8)红物湖) 数交基(8)红物湖)	
	5.85 各 条		10000000000000000000000000000000000000	11. 11.6	寿园舍(站在戏分) 王庭明(抗生器) 右廢품(生物核定) 2. 黄杏戟(生化华) 后来光(薬品安定性)	
		7 Tel 85	SCA在X货业以上的 以外外外被任理		大学院の格施在領域一	
	5. 29. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	1 : 		5/12-11/16 5/12-11/16 5/28-11/30	9/2-2/25	(群循版(抗生物質) () () () () () () () () () () () () () (
	1997年5名				应 项(悉案麻桑分析) 實晚雲(抗生物質分析) 韓 皛(卷性英理) 呂隱塞(中愛分析) 張 莉(分子生物学)	6/3-11/30 5/13-11/16 5/13-11/16 5/20-11/16 6/3-11/30
4.						

日本側/中国側投入実植一覧表研を見受み、現地活動経費、中国国側投入実績、その他一(その2)

	王松道(生体内聚物分析) 확成明(精報処理) 劉霖(蔣理病理) 吳貴華(宋錄原棄物処理技術)	
1998年(H10年) 456789101112123	67.A " "	
子女年 目 路	C/P 日本研修 1998年 4名	

李

田本側/中国側投入実権一覧表 研修員受入、現地活動経費、中国側投入実権、その他一(その3)

	M. 100	5.70~3.50~3.50~1回 5.40~3.50~3.50~3.50~3.50~4.00~4.00~3.50~3.50~3.50~4.00~4.50~4.50~4.50~4.50~4.50~4.50~4			1998年7月现在
以其外	1993年(王の称)	1994年(日6年)	1995年(日7年)	1996年(18年)	;997年(H9年)
二 四 里	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 89101112 1 2 3
架车		40万元	30万元	20万元	20万光
1000円では、1000円		4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
C/P及び等数額面	1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
种三家母终园::::::::::::::::::::::::::::::::::::					
山坂早间海闽湖 石牌一路及路				因各值、動物実験室改造工等	東丁原及憲
無面型改造 新館環境改善計画					0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
**************************************	(出口其外)	(職員数) 総合計	195名 : ((主要調建資機材)98/6現在	
相手國愈 校入来費		*	· • • • • •	空调楼-20台,聚绕台,家具等改造-415台, 水浴-4台,紫卷用1/107-7台,果袋链路-43台	56. 43¢
	高層付加賽 医佐诺诺克 盆景	総務関連職員	20%, 40 有		
医神氣		8/23 8/31		9/17-9/24	8/14-8/21
		学園社のお鼠園園(7名)	派遣なし	巡回指導調查団(8名)	巡回指導調査団(8名)
数やーゲーニ		なし	1/96	9//1/30-2/6	98/2/4-2/13
				開催(東京) 大倉洋南	開催(東京) 大倉洋雨
調整の企業		中國内閣整貞会議路衛	中国内調整員会議開催	中国内調整員会議開催	中国内鎮駿貝会議開催
			ハリ(衛井駅)		・シンガポール(藤井晃)
国内委员会等	随時開催。	再門家婦国後知知的 口	再門家帰國後定期的に	専門家帰国後定期的に	本門家帰因後定期的に
((開催している。	閉催している。	開催している。	区拾したらる,

無償資金協力裁聚

(註1)の/P田太朝後の欄には、氏名、甲條科目、安入期間(日付入パーチャー)を記入。 ③ 金 第: ○牙4 ②用/N部基

(註2)現地部勤経費欄には、現地業務費及び実施計画諸費の年度毎の合計支出額を、各々上段、下段に記入。 (註3)相手国側投入実績欄には、C/Pを含む部門毎の職員配置人数、支出予算額、主要な調選資機材等を記入。 (註4)調査団の欄には、調査団名、人数、派達期間(日付入パーテャート)を記入。

(註5)リーダー会議、顕整員会議の横には、出席者名、開催場所、開催期間(目付入パーチャート)を記入。

日本側/中国側投入実権一覧表 研修員受入、現地活動経費、中国側投入実績、その他一(その4)

1998年7月现在

水紅谷	1998年(H10年)			•	
四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四	4 5 6 7 89101112 1 2 3				
名 中國 中國 東					
(文/文) (文/z) (文/z) (文/z) (文/z) (文/z) (z/z)					
専門家事務室 当該計画運動費			·		
田 第一 第 第 第 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8			:		~~65.657-77
斯爾塔埃及密門回					
あ を で が で が が が が が が が が が が が が が が が が		·			
智林田	評価調査団(6名)				
リーダー会議	中国リーケー会議				
如数員会議	中国調整員会談				
国内泰拉会等	庭時別儀				
	_				

②全分の時期: (註1)C/P日本研修の横には、氏名、研修科目、受入期間(日付入パーチャート)を記入。 (註2)現地活動経費機には、現地条務費及び実施計画諸費の年度毎の合計支出額を、各々上段、下段に記入。 (註3)相手国側投入実績欄には、C/Pを含む部門毎の職員配置人数、支出予算額、主要な調選資機材等を記入。 (註4)調査団の横には、調査団名、人数、派遣期間(日付入パーチャート)を記入。 (註5)リーゲー会議、調整員会議の欄には、出席者名、開催場所、開催期間(日付入パーチャート)を記入。

1 合同評価報告書(中国語)

关于中华人民共和国天津药品检验技术项目的联合评价报告书

由国际协力事业团组织,以日本国立医药品食品卫生研究所寺尾允男所长为团长的日方评价调查团(以下简称调查团)在中华人民共和国天津药品检验技术项目(以下简称项目)实施的最终年度,为评价项目的活动,以及探讨今后技术合作的相关方针而于1998年7月20日至28日对中华人民共和国进行了访问。

调查团在华期间为了实施项目评价,针对业务的进展状况和具体的合作内容,同以天津市人民政府科学技术委员会梁肃主任为首的中方交换了意见并进行了一系列的协商。

协商结果汇总为附件,已由调查团与中方有关人员共同确认。

1998年7月25日 于天津市

MB (41)

梁 肃 主 任 天津市人民政府科学技术委员会 中华人民共和国 寿尾 允男

专尾允男 评价调查团 团长 国际协力事业团 日 本 国 附件:

1. 项目实施概要

天津市是中国重要的药品生产基地之一,每年通过天津港有大量的中西药品销售到海内外。天津市药品检验所是天津市卫生局领导下的,对天津市辖区内药品质量进行监督检验和新药审查等业务的法定机构,是卫生部授权的全国 11 个可进行进口药品检验工作的口岸药检所之一。

项目开始时正值中国的药品质量还不能充分达到国际标准,中国政府第8个5年计划提出强化药品质量管理之时,为此中国政府希望通过强化药品质量管理及检验工作来确保人民用药质量和安全性、有效性,特向日本政府提出了在天津市药品检验所进行技术合作的申请。日本政府接受了此项申请,于1993年11月开始了为期5年的专项技术合作。

项目实施已经历经 4 年半时间,当初计划的专家派遣,接收研修员,器材提供得到了顺利的实施,天津市药品检验所的实验环境、学术研究和药品检验业务有了显著进步。通过学术研讨会、专家的赴外省市讲演及接受外省市药检所的进修人员而使本项目的成果不断向全国普及。

在检验环境方面,由于安置了纯水装置,改善了实验室的灰尘污染问题,解决了实验废弃物的处理问题,改建了动物实验室及图书情报室,建成了所内计算机网络系统,设置了洁净室等,从而得到了极大地改善。

此次最终评价调查团与中方有关人员共同针对项目实施协议阶段设想的,所期待成果的取得情况进行了调查、讨论和联合评价。

2、评价方法:

根据当初计划和 1997 年 8 月巡回指导调查团派遣时中日双方修订的 Project Design Matrics(以下称为 PDM), 进行了项目达标程度的衡量,调查了项目的效率性、目标达成度、影响、计划的妥当性和独立发展性等。(关于成果的取得情况参照附件 1)

(调查项目)(PDM 所期待的各项成果)

- 1)GLP 的理解、实行程度
- 2)对分析方法验证的理解、实行程度
- 3)有关药品检验技术的掌握与提高
 - a.仪器分析技术
 - b.抗生素
 - c.化学药品(药品分析)
 - d.生药
 - e.生化药品
 - f.药理生物试验



弄甩

g.质量管理、检验管理

- 4)检验环境的完善、充实
- 5)培训药品检验技术人才
- 6)有关药品质量管理的共同研究
- 7)与其他省市药检所的技术、科研信息的交流情况

3. 项目目标与合作活动

项目以提高天津市药品检验所的药品质量管理水平和业务技术水平为目的,在以下领域进行了合作活动。(各领域详细的合作成绩参照附件2)

- a.仪器分析技术:充实了包括分析仪器的各种实验器材,为在药品分析中有效地利用 这些技术,应用了包括新技术在内的仪器分析方法。传授了 HPLC、FT-IR、 GC-MS、GC、原子吸收、毛细管电泳、热分析等的基础技术和应用技术。
- b.抗生素:为谋求提高抗生素类药品的检验技术水平,而指导了微生物学和物理化学方法的效价试验法、安全性试验等。指导了无菌室的使用方法、抑菌图测定 仅程序的编写、HPLC 和毛细管电泳在抗生素分析中的应用。
- c.化学药品(药品分析):指导了生物利用度、溶出度试验、药品稳定性实验及药品制剂分析的有关技术的应用,还传授了光学异构体的分析技术、HPLC的分离分析技术、毛细管电泳的分离分析技术等新技术。指导传授了有关药品标准制定、GLP和分析方法验证的概念。
- d.生药:指导了使用仪器评价检验生药·中药(汉方)制剂质量的方法,讲授了基础的生药,中药(汉方)制剂药理试验方法和生药·中药(汉方)制剂活性成份标准品的制备与研究方法。进行了应用 HPLC、GC 的成份分析、有害重金属的含量检查、农药残留量分析、活性成份的判明与分析研究。
- e.生化学药品:传授了蛋白质、糖蛋白、多糖类生化药品的分析法与生化学检查法 ,及指导了这些药品质量标准的制定。传授了胰岛素制剂等的酶联免疫测定法 和 HPLC 测定法。
- f.药理生物试验:开展了药品毒理试验和生物测定(鲎试验)工作, 传授了病理组织标本制备、基础组织学与典型病变的诊断法、长期毒性试验的动物病理组织学诊断法、使用细菌的致突变检测技术、评价生药药效的实验方法、动物实验室的维护技术等。
- 4. 投入业绩(参考附件3 中国/日本投入成绩一览表)
- (1)日方
- ①专家派遣

已派遣长期专家 5 名(其中业务协调员 1 名)、短期专家 64 人次,今后准备再派 造 10 名



新尾

- ②接收研修员
 - 已接收研修员22名,今后预定再接收4名。
- ③提供器材。

提供了HPLC、GC、毛细管电泳、可见紫外分光光度计、原子吸收、多导生理仪、自动定氮仪等设备,总金额约3亿8千万日元。

(2)中方

- ①配备对口人员
 - 根据 R/D 配置了所需工作人员。项目实施负责人 1 名(天津药检所所长),各专业对口人员 40 人。
- ②现地负担费用

负担每年度的项目运营费用合计为 130 万元人民币, 其他如无菌室、动物实验室、图书情报资料室的改建、整修等费用约 200 万元人民币。

③设施完善

完善了化学实验室、动物实验室、图书情报室、洁净室、计算机室、专用教室等。

5. 评价结果

- (1)各专业评价
- a.仪器分析技术:通过传授仪器分析技术,使药品检验达到良好的实验状况,可获得准确的并且重现性较高的试验结果,仪器分析部门的成绩可通过天津市药品检验所承担的中国药典有关仪器分析方面的部分的修订工作得到体现。特别是在新技术的应用中,如将滴定法改成 HPLC 法,从而使重现性与精度都有所提高。通过共同研究和分析技术及评价能力的提高,使新分析方法的开发成为可能。
- b.抗生素:指导了微生物学和物理化学方法的效价试验法、安全性试验等,提高了抗生素药品的检验技术水平,通过引进新检验仪器使微生物学与物理化学方法都能被运用,从而提高了抗生素活性评价的可信性。与此同时抗生素的药品使用的有效性与安全性也得到了保障。
- c.化学药品(药品分析):提高了化学药品检验相关的检验技术水平,可迅速地进行准确、高精度的检验并提高了工作效率。由于指导传授了新的分析技术,使分析方法更为多样化,可从多个角度进行评价,为保证提供合格高质量的药品作出了贡献。
- d.生药:传授了使用仪器评价生药·中药(汉方)制剂质量的方法,并用于生药的标准的检验,而且提高了生药中活性成份的分离鉴定及分离定量的技术水平,还使标准品的制备成为可能,这些为保证提供质量稳定的中药发挥了作用。由于采用了新的检验方法而使有害重金属、农药残留的分析成为可能,为生药的安

yor

寿尾

全性评价作出了贡献。

- e.生化学药品:扩充了生化药品的分析方法与生化学检验方法,可进行多种生物药品的检验。能够使用物理化学方法评价生化药品,对生化药品可进行迅速的、具有高重现性的试验评价。由于传授了胰岛素、人生长激素等的 HPLC 分析技术、免疫分析等新技术, 打好了能够对多种多样的生物药品进行检验的基础。可以适应最近中国国内生物药品不断普及的要求。
- f.药理生物试验:提高了生物测定 (鲎试验)的技术水平,可以进行更深入的研究工作。随着病理组织学检查水平和特殊毒理实验技术水平的提高,能够正确地进行药品的安全评价。加之中药药理学实验水平的提高,可以进一步开展中药现代化的研究。由于动物饲养设施和饲养条件的改善,更加提高了实验结果的可信性。

(2)总结

天津市药品检验所自从 1953 年开设以来,作为省市级药品检验所及中华人民 共和国天津口岸药检所开展了相应的药品检验业务,但由于检验仪器设备的不齐全, 掌握新技术的检验技术人员的不足, 而导致检验机制不十分完善。通过项目的实 施,使检验仪器得到充实, 实验环境得到改善, 技术及管理水平得以提高, 计算机 的广泛应用, 使日常检验工作精度得到提高,检验周期也得到大幅度的缩短。

天津市药品检验所接受的中国国内制药厂商的委托检验,包括向国家申请对国内外出售制剂的销售许可在内的委托检品数在 1994 年仅有 197 件,但到 1997年就猛增为 2130 件。可以认为天津药检所检验工作的可信性和快速性已经得到了肯定。

此外,由于项目的实施增强了天津药检所监督检验药品质量的能力,几年来保证了该所每年完成检品总数逐年上升,由以往 4000 件左右上升至 97 年的 5684 件,由于加强了药品的监督检验,促进生产厂商加强了产品的质量管理,检验结果合格率也逐年上升,由 94 年的 91%升为 97 年的 94%。而天津市生产的药品抽验合格率也由 94 年的 95.0%升为 97 年的 97.0%。

近几年来,天津市药品检验所在加强天津地区药品质量监督管理上取得的成绩也可从下列全国有关统计资料中体现出来。

- ①根据中国卫生部药政局、中国药品生物制品检定所发布的《药品质量公报》资料统计,自 1993-1997年,全国统一抽验共 119个品种,2290个生产单位,抽验总计 4645 批次,合格 4089 批次,不合格 556 批次,合格率为 88%。其中抽验本市20个品种,24个生产单位,81 批次,合格 74 批次,不合格 7批次,合格率为 91.4%。
- ②中国药品生物制品检定所 1997年对全国(含省内地市区县)药检所药品检验情况的统计,全国各所抽验总数为 429890 件,抽验不合格数为 76223 件,抽验不合格率为 17.73%。其中天津地区抽验数为 7214 件,抽验不合格数为 393 件,抽验不合格率为 5.45%,表明天津地区药品合格率居全国前列。



芬尾

③自97年以來,国家卫生部根据《中华人民共和国药品管理法》和《中华人民共和国质量管理条例》的规定,到目前为止对全国63个药品生产企业进行了药品生产规范(GMP)认证工作,本项目曾对天津市药品生产厂在GMP方面进行过指导,对促进厂家GMP管理水平的提高起到一定作用。目前天津市共有7个药厂接受了验收,通过了认证并创造了三个全国第一:1.新建厂通过认证居全国第一:2.中药厂通过认证居全国第一;3.通过认证的药厂数量居全国第一。

有40名对口人员接受了专家的直接技术指导,通过提高对口人员的技术水平, 使他们掌握了主要仪器的基础使用方法及应用,从而使共同研究成为可能。目前除 了由于退休和健康原因离职的5人外,现有87.5%的人员活跃在本岗位上。

虽然由于动物实验室等实验环境的完善上还有些滞后, 导致药理和化学专业 上尚有若干不足, 但可以认为大致上达到了项目目标,培养了许多可以独立地完成 药品检验及研究工作的人材。

6. 建议

通过至今为止的合作,已经完成了药品检验工作必须的技术传授,今后重要的 是通过天津市药品检验所自身的努力巩固和发展这些技术。今后的课题是进一步 促进各科室间的配合、确立共同研究的合作体制。

关于中方迫切要求的对于动物实验室的饲养管理及安全性试验的GLP和评价方法的问题,认为利用在项目合作期的剩余时间的技术指导和项目结束后适当时期的短期专家派遣等方式来补充完善合作,可更有效地巩固上述有关技术。

项目结束后,希望继续保持中日两国相关人员的联系,并将继续不断地进行信息情报的交流、



寿龟

项目目标(指标)完成情况

3 -
歪

国标、活动	格而否於	开始年度状况	最终年度状况
1.01.5 名對鄰、稅潔	张省 (1993年-1998年股在)		
	1-1. CLP 母字令、字母の平大教	来召开 CLP 研讨会及讲庭	由专家共举办12次,以各种宣为主定期进行指导
	1-2. 岁秋湖 OIP 色越影,斑然条亦海海神	ACTS 化聚化在一位指取的阻滞,向铁际尚未施工。	由卫生专进价格者、实作坏既验证、预验合格, 具备了实施 CTP 的环境、经专定指导, CTP 的就给大致绝过。
	1-3. 坎勒登、仪路安与办公园的分离	六 少片,	木 �
	1.4. 华宣内区华仪路在区宣配发	有望实行同宣配互,但在全所未统一实行。	校 CIP 的概念,在全所实行仪器同室配置,同时,整核、整理了大型仪器室。
书品总 OC 概念及 GLP 观念的传教	1-5. 黟山灰尘鸟湖	断实验楼建成后,未建立活挡、防止灰尘的有效对深。	通过济扫,对城瑞宙在用橡胶密封及安装空气活新机、空调器而放显著戏鸟,对一般检查无影响,实施卫生检查制度,各种宣布月进行一次环境卫生及器材管理状况的检查。
	1-6. 透当配电	由于电压不稳,超效对父昭并出数名,如政治称夺电,超负行。	配置稳压器,保证收器的稳定使用,减少数据的差异,济供电公司进行停电检查,更换、增设格度,济除超效配线,
	1-7. 玻璃器具的配备与洗涤	首的该结器具数分,一般检查试验可以使用。 但不适用于研究试验,另特殊或结器且及订凿器具不能的人,洗涤剂为硫酸重效酸增混合液,或结器具由专门人员布状验者洗涤,	更换质量好的器具,寻找可进行特殊加工的部门,如你专供研究用必要的玻璃器具、玻璃器具购入未涨通畅,停止使用变铬酸钾洗液,改用中性洗涤剂,由科室专门人员负责进行玻璃器具的洗涤。

44

项目目标(指标)完成情况

附件1			
表光 茶四	及四名冷	开始年度状况	最终年度状况
	1-8. 误剂的基理与整核	试剂管理不住,对尼险试剂及药品管理不完善、试剂未作登记,试剂再于地下,储减及营理均存在问题。	各种宣共作了对试剂的完备管理,建立都完备了对危险设制及药品的管理制度,实行了较好的管理,建立实施了由2名管理人员进行2次确认的管理制度、各种实进行了试剂登记。目前,正在进行用计算机管理全所试剂、停止使用选下库保险试剂、必要时、实验所需试剂可直接购买的制度。
	1-9. 仪器的性能及管理	基本检验仪器不足,没有完整的仪器管理构度、保修不足,多性能应用利用不充分,未放定 SOP 操作程序与检修程序。	配子检验所需的基本仪器,同时配子研究仪器,完善了管理,保养制度,确定了各位器的管理者,补充了大型仪器的多功能配件,使之可充分利用,完成了主要仪器SOP的构作及检定规程,
	1-10. 水质合理	HPLC 学溶剂所使用的实验用水白外部结果,水质无保证,如用于 HPLC 时不能获得准确数据,所为永实行水质管理,不能用于污藏感度分析。	没互了自动净化水炭至,可供所为一投试验、玻璃器具涂洗使用,有专人负责装置及水质的管理,并定期进行水质检测管理,各种宜配置了双重蒸馏水器,化学2全还设置了绝水创造装置(mini O),所内可保证稳定提供试验用水。此外、高感度分析用水也可保证。
	1-11. 使用酒的酒机的蔬菜等废弃物的处理	所内不进行合理处理,处于对省关展产的制度, 展弄的处理的知识极缺乏状态,没有展开的分类处理的概念, 动物的排泄物处理及尸体的处理方法文头,	对省长度并站处理的概念及处理方法有了一定的理解,在实验室内的处理制度正在拟定,确定立了分类成并物处理的概念及处理体系,现利用溶媒处理装置对甲醇、甲苯、氨仿等溶媒进行处理,对实验动动排泄物处理,尸体处理等有关理论和实际处理方法有一定程度的理解并正开始实施。
	K K		冲呵呵

-	+
4	-
4	:
* -	-

四海、沿路	及四石谷	开始年度状况	最终年度状况
	1-12. 枚叉毫次供塞次款的表	没有实验者以外人员对我杨进行确认。	经专家指导,开始实行交叉确认创成,现在化学部门已建立交叉确认测度,通过实行校叉确认决保保检验的特度明显提高,查察指导 6 次,合计人数 95 名。
2. 副舞伞壳米褐岩、	并执行(1993年-1998年现在)		
3	2-1. 辛昂令次效	汉进行	全所范围 3 次, 科室范围 10 次,
全在采取的物间或约定金表表	2-2. 进行粉度实验、评价的次数	很少进行,	好药审查,药物质受标准倒交的实验研究增多,对共分种方法均进行验证实验部子价
3. 路的海路放水色数	花品發發技术的故信(1993年-1998年既在)		
○进行交易分析技术 小面的指导: ○抗元素分面包指导: ○允平均的少面包指导: ○元廷沙面的指示	3-1. 依怨技术的种类/质	○布次分析检验技术在华质专量方面均处于 而不充分决态。 ②用微生物学分法检查抗生素药品效价的技术的用效。 B 被少应用 HPLC 分析技术; ⑤检验技术质、爱均尚不充分、开展断技术 6 研究和应用权少、试验必要的检验仪器欠缺; 6 体验技术、爱均尚不充分、开展断技术 6 研究和应用权少、试验必要的检验仪器欠缺; 6 体验技术值、验均尚不充分,权少断技术 的研究应用, 检验仪器久块。	①学习了检验工作必要的分析技术(分光光度法, HPLC法)、并用于检验工作; ③允基提高了用微生物学方法进行抗生素药品的效金试验的技术,另扩大了利用 HPLC 分析技术进行试验、效应的, 这位投了无菌试验、效应的质式验技术, 是的利用度, 溶出试验、这个证验、对心中PLC 的一般技术, 生的利用度, 溶出试验、进分析技术进行传授, 整锁检验环境, 实施 OLP 及指皮管现; ④建立了化合物的结构确定技术及中部分裁、投解技术现实。

:	
-	1
Ţ	•
4	,

克米 茶品	从四乙分	开抬年度状况	最终年度状况
○上代記記分司告告 中: 同志論、上書以前分 同方益命。 (日本於今祖 (日本於於今祖 (日本於於本文 (日本) (日本於於本文 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)		⑤拾粉技人质、爱出的不无合,效少断技术的 研究及应用、检验仪器不风。 ⑥拾粉技术质、验均的不充分,较少增技术的 研究及应用、检验仪器不足、未拟定 SOP: ○对质、量、检验的管理不完全; ◎未实存中草则而强。	○疑院过滤液治波术,人工族与赤及聚分均分析 、ELISA 技术,抗体合成技术、PCR 技术学已 周用: ⑤ 应用凹陷内毒素试验波术、Ames 试验、体外 自肠培养、由肠毒性试验、磷酸组织标本塑体治 及分解技术、且对正在进行动物图举技术的体状 、指导、SOP 在逐步完善; 也实行效又确认而使精度模范,却照影;2令每(以其中故事)、设置粘度如照表对照影;2令每(以上中格勒)、设置粘度如照表的对照影;2令每(以上一部路面照图卷、现后对此图够;2令每(的建立了部路面照图卷、现后对此图移进行进一步段进、所外检验模据、看验资料全部由中理问程。 会成成、由专定进行目常检验、大型仪的受热评注一 会以流、由专定进行目常检验、大型仪的受热评注一 会以流、由专定进行目常检验、大型仪的受热评注一 会以表达之组。
○女郎分析故术免指中; 中; ○抗压水分面免指外; ⊙化华鸡品为由免指外; 中; ●生数方面的指示。	3-2. 检验件数及完成债况	○仪器不足及各础加尔的欠换导致仪器分析技术的校路后; ②进口 119 班, 墙垫 321 批, , 委托 31批, 合计 471 批 (1994 年统计); ③进口 399, 墙垫 743, 委托 35, 合计1177 批 (1994年统计); ④进口 45, 墙垫 1417, 委托 112, 合计1574 批 (1994年统计);	○分本存於主要仪器进行交路分类技术的指导. 97年进行交路分标单层, 力强了原方齿的方式, 分析仪器目前会单能正确操作的应用; ②其口 192, 档额 350, 委托 174, 今许 716批 (1997 年统计); ③进口 600, 档额 519, 校托 608, 合计1787就 (1994年统计); ④讯口 42, 档隔 456, 校托 1224, 合计1722批 (1994年统计);

华两两

摄项目目标(指标)完成情况

目标、治数	屋田田谷	开始年及状况	最终年度状况
の本会権的少面名称		○海口 57、 治粉 120, 校托 5, 合計 182於	⑤注口 356. 始後 70. 泰托 119班, 合计545
-			共(1994年紀年);
		大学 一大学 一大学 一大学 一大学 一大学 一大学 一大学 一大学 一大学 一	ないがなり、などのか、このとは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので
の形質、生物状物が		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	24 CO 15 TO
面的指导。		(1994 年終年)。	(1994-1965-1);
〇后向后面, 衣物印		-	
型的指导:			
◎ 检验论 本及教 据 中			
林於如風少冰的描			
w die			
⑤ 草火 安 招 南 京 乞 沒			
4、女能状况进行第一			
刺			-
国本共东部初户忠本			
况讲价监制。			
4. 基顿扩充检验环境 (1993 年 -	3 年 - 1998 年)		
①引入每本分表的本:		与化学有关约无菌盆性能不好,动物实验室设	五在治汉法净定,尽动功实验会进行了攻球,恐
◎ 发່		华不华会, 幻气姿态, 解成知照不风、张特例	次下约气净化坑、约定路, 宋朝何己亦今何今片
及专用设施;		· 专办公园不分, 没有解决灰出的知识, 那完实	,解决农业对策使之有所改善,华及研究试验用
回年现在公郎洪尔松	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	松田城场路际不尽, 宋始仪路不风, 电路船线	战强切时,宋贽以中代人,以加口击囚张势河乞
**	4-1. 共资环或专资营风	六亿华志越数智线,大酒长吹,	兄戏母, 见国丁世状绍米地说牧风杏结米些说教
(1) 女子不所及女儿爷			24. 从后发神口头颅。
<u> </u>			
〇世代 女祖名今日			
化配置及使用规则.	•		

料

顷田田标(指标)完成情况

ווו נו ז			\$1.50 P. S. 41 S.
目标、活动	为四尺砂	开名华成状况	农羚牛虎状化
1 ' '	4-2. 计算机的利用度	未应用于检证业务的管理, 在实验数据分析方面利用不足, 不能获得充分的研究之故资料,中药标本数据不齐全, 在仪器管理方面来利用, 计算机宜工作人员以外省没有接触计算机的机会。	应用于检证业务管理中,利用计算机进行效据分析统计。可获得研究文献资料,进行中药标本效据管理、收器管理、各科宣半效人员总本等强计算机的凝化、在所内进行有关计算机的讲座,用这系统正在建成中。
	4-3. 提供仪器的利用度	日给法参为歌众弱不风,故识为民,不能圆溪、专出夜园、荷品效不多,众昭允汉用华兴元,称昭改不多,众昭允次用舟水泻,	配齐日徐业务必需收器,对各科宣进行了补充,我校利用、充分使用收器,由于检验效的谐加、校园的使用来也得到了投高。
		目常检验必要的消耗品适度配齐,但质量不良, 杂配件的管理文件, 对零配件的补充未换项 其计划,效该有的仪器出现故障后效宜,而不能使用。	日常检验必需的消耗品,在质和宣方面均充足,对配件的管理还不能说十分完善,但现各科宝已进行了很好地管理,由于进行全面管理存在一次问题,现正试行利用计算机进行在库管理,收路经理室、项目仪器管理室的工作及维护管理运转及标。
5. 药品检验相关技术人员的培训	人员的培训 (1994年-1998年现在)		
○ 对各个部分进行 C/P 检验技术的指导; ◎举办大、小邱时 会、讲座。	5-1. 技术人员培训教		五6月份对口人员总许人次66名,赴日研停注26名(包括予定派遣),对中药宜8名,代华一定8名,化华二定9名,生化宜9名,抗生素定3名,药理定7名人员进行了指导,参照专定兼成,群社会一览表及全国研讨会、地方演讲情况一览表。

Η. ν#ζ

克爾洛

別及
(加林)
四四位
접

写年1

目标、活动	从三内谷	开始华度状况	最终年度状况
◎补充药检所的专业 书籍及学术情报			孙克日活专业书,中文专业书及文献资料,利用国际网络进行文献检索,计划对有关处图书协报人员及人员会员,计划对有关图书协报人员证行强化活剂。
6. 拉铝质的合用化块	6. 药路质量管理的共同研究 (1993年-1998年现在)		
○进行共同研究;○举办學术报告会,公律及行论文集;	6-1. 发表论文教	市双宗治报告校务、多数人未正确牢设论文的书写方式,论文发表数:20篇左右。	在专家指导下,对口人员学习了选超及论文的书写方法,在国内及国际有关杂志上发表论文多篇,论文发表数: 309 篇.
◎校理必要的参考文表.	6-2. 水回华代兴盛教	有与中国药典委员会、卫生邮学的共同研究、企业超级较少、与其他单位共同研究课题数很少。	与中国药典专员会、日生业的共同研究指分。也有与企业平共他单位进行的共同评判研究(中国国际)共同研究课题教: 1997 年 34 版。
7. 与其他省、市药检点	7. 与其他省、市药社阶进行技术、研究特权的交换 (1993年-19	993年-1998年現在)	
○宣存於之何布中耶○存於街海、市認有		未举办过.	中日花昭今桂枝水平山今 5 次(包括西米召开8年五年8年五次),本外汉泽、坂南(今熙河畔),
尼湖花寂华及淅漈; ❷游戏状爸杨敬赏老	7-1. 召开全国社学术报告会、建计会		· 戴左校的位(2次),忽光起曾医名有的故不是一本会(5次,包括许赵莽专)。
的研伤员: ⑤举办日中陆铝分析 技术研讨会.	次		
			7

项目目标(指标)完成情况

及四名神	となけるから	War T IX WWG
7-2. 共饱省市战水人员站到我	没有	专家报告听取人数 779 名
7-3. 其他就的参观治合计数	10%	40 个单位 300 名左右
7-4. 环色治中华谷园的站出	没有	11. 个单位,19.名
OMP	市村的监督员按据国外规定,在天津市内尖淌结品监督的一纹业务。	由专家华办历学会,今约国际上的经验,进行校校检查,对编书员及谢托会业相关人员进行指导,CMP 概念已在天津市内的创药会出户编定,日初,我市已在 7 个生产企业通过国际 CMP 认证。

柳鸡

零年2

我你当村公田衛在 悉成: 女幼沙老(中一戒化日今年)

天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业类别)

1998年7月今辰

3.11月 - 30年3月 30年3月 30年3月 - 50年3月 30年3月 - 50年3月 30年3月 - 50年3月 30年3月 30	中			日 〇日之民選出 本 分記二十年光 五	· 内支接机均 ② 禁火水	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
31年11月 - 94年3月 34年1月 - 95年3月 35年4月 - 95年3月 37年1月 37年11月 37年1月 37年1月 37年1月 37年1月 37年1月 37年1月 37年11月 37年1月 37年1月 37年11月 3	98年4月 ~ 98年11月	10000000000000000000000000000000000000	1.以父弟在你的现在分词 今年成 1.以 CL2 为目标的父母 6.说 CL2 为目标的父母 6.说 E 4.说 E 应 B 成 表 及 維 并 能 在 E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	战分析(PSC)的应用 指导论文的写作	父弟传说,故护.HPLC 举应用技术,毛细管电 举应用技术,FT-IR 的 应用技术	○一枚分析保器的机体 学说,HPLCCC公产 光度计,尽于吸收、氧 各级分析说,自由定能 收的机步 ②共分析OSO的应用 ③毛和容电法的压用 ④干T-R的应用	
37年11月 - 94年3月 94年4月 - 95年3月 95年4月 - 96年3月 96年4月 - 97年3月 75年	国民中86一回中年2		又称总在统护外 自然 可以实口女路存 即是及存代 自己技术的华紫	57.仅23分析谱度,据 4.农工的正常使用参 8(数分析IC)的应用)	分析技 HPLC和 I用技术	1995 1995	<u>-</u>
37年11月 - 94年3月 94年4月 - 95年3月 95年4月 - 96年3月 7 3 4 7 3 7 4 7 3 7 4 7 3 7 3 4 7 3 7 3	- 97年5月	ŀ	~	* 李因		分析仪器的准	1.多学生现仅2.路标仪.3 卡代水分测定仪, 4.CC, S.HPLC(米),6.的专术测 仪.7.自动血球计数仪.8.3
3.4年11月 - 94年3月 94年4月 - 95年3月 - 95月 - 95	- 96年3月	X 3			l	谷柱成分的名称为名词	.毛细管电泳仪,2.自动溶出 2.3.HPLC.4.自动定氧仪,5. P.进压测定仪,6.自动染色代, 2.7.自动进择器,8.崩解仪,9. 长稳定,性测定仪,10.非它
37年11月-94年3月 1.20本部村的海桥 2.通河从天然站站中 4.20本部村成分 2.通河从天然站站中 2.通河从天然站站中 3.从各驻沙市内沟 4.4. 4.20人。3.44 4.10人。3.46 4.10人。3.46 4.10人。3.46	- 95年3月	**			£ *		原子吸收 3.种菌 仅.4.序它
			1.现有器材的固格2.确定从关系结结中分割治性成分 分割治性成分 3.从各组为由介绍的技术		父弟分析在功治分析中的应用		
在				游	4 图 44	2000年在 49	क्षे <u>व</u>
到这的目标 专家派遣 C/巨人员培养 密村供应 18 就有公投资金 11 11	治者/年月		1.40年分享公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司公司	1. 木越本兴	2.光型专作		1.3.村保及

部件2数水运业区用资本

天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业类别)

1998年7月作成

の十十四十年代 **日最治路地大小 日本日日刊式券** 0年十七七年紀 **⑥亞治斯生大学** ○ 五年四年日今 **马克州山北京於** ○因年四年 四分分 弘出外座完茶 いるとなるが 公日本大学 뇃 かける 43 ¥ * Ė C.先望公司兴分本也指印 | D. 依因先至而由兴致分 | 考 ሏ Œ * A 宏 a.采用 HPLC的分别分 1.超白今在(建城大) d.生物有效社的评价方 98年4月 - 98年11月 我的分本(DSC)的反形 1.乾品分於(與故水) 3. 不少置仍会 山苍安区纪昭今老 HPLC,这少之位中 5.年昭老太知少宗 **77** 2.按品分於(宋年紀的 | 成独标浴及FT-1R C/Pバホイビガギ ₩-专人兄条哲学 1.法长品 2.HPLC D.进代到教会 8. 电暂知电光 光子が深ら Ų ○総合今茶 专公的派出 专事员办公 b FT-18 外令女 4头冷室,2分头中 5.采用 HPLC少本包括中 2.光彩中花谷谷於紀光明 **艺令就令矣。2.既吕今年** (字材於) 5.分學的容数 方法,b.采用 HPLC 分离 1. 超日今春(春戎禾) 今年15. 然風光智的由家 亦來年級例(C.D.如年数 2.七台后的安 HPLC,我少於的哲學 数效. 6.其它 97年4月-98年3月 1.然的谷老(乾技术) **成分左忠用於日东** 1.枳铝分光(煮枝米) 我令女CCO的女用 3.依任司事 2.米十起品名為沃莉 2.光华本在安地的 1.HPLC ならある方 场外民技术 ()宝宝 4 1.FT-IR, 2.HPLC, 3. [1.路出或数效器,2.毛细空电 [1.GC,2.HPLC,3.离心机,4. 生故以此天功者, 6.今此 赵昭令章仍然是心 17 月5年16-月7年9月 HPLC的应用技术 中茶锅7. 六仍 a. 巴拉版全标符的 5. 町-1R 的次刃 0. 竹牛老河東左 灰水鸡松 左今日代1 (字C) 经额 天线 2.还单位,6.米哥用签约文。 4 原子及光光度中,4. | 米3.光彩发在3.4.HPLC. 少生物学利用度,多 5. 為何有代替名以 想留今年紀如其也 3. 初代有次替尔本 (3年於孔於於定 以5年96~ 月4年5月 × **发育艺术或必须** 1.以昭忠裁於京 无艺术效益 1.先物利用及 己本的心形 がきら 3,⊒ aj← される 된 * 3.巴松松昭演者林兴治 (火烧泊水, 坑圾, 坑 3.代抄述比成,我 D. 好本的形以帮於 13 · HPLC,TLC 少水学年 拉目分左急於名花 b.FT-IR 名称基础的 93年31月-94年3月 | 94年4月-95年3月 、花田今年が本中に 初今我在的老的 (四部納的形) · 今本文昌的祖成, JV. 5.电子大平 是因为, 室外方面 1. 大岩石灰岩 置所形式中 左依 時 稅 二 安全赔偿 田田 忠然兴 <u>-</u> オース 内一药品分析环境的处理 v: 1.5 松子 3 4 24 G. + 1. 计艺统教 位, 杨父姓及 1. 故余包以 東放不給有犯 司名中本今的 不然实际权 浴站/年月 1.大艺办外 2.对建办外 炎 高成: 枕后令老 봔 本 Ŧ 女 🌣 8 4 ন ¥ ≺ 47 明出 H =Ϋ́

ξ

军全2

在京田村田田京本

天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业类别)

998年7月给成

○瓦山區 医死亡令 **6日七色字点中** 弘山大年紀年 14 がゲ 사 स्र 指孕向国际杂志收约 1998.4 - 1998.8(4M) (🕏 98年4月 - 98年11月 ○本代和本記述所 〇九八米 (华年兴學) 状劣監教智物即 对义书 おなゆかり **西京指州本北彭然外张** 97年4月-98年3月 〇九七六(今战今左) (五十二) 1997.11-HPLC技术指序 我置新智指如 1997.12(1M) 4 1996.4 ~1996.6(3M) 96年4月-97年3月 刊帐名教物杂签 ○抗生素效合色 龙, 由专父年抗 ①效价试验 (攝原 并不出初者故中 置风告游客人 , · 然依含苏茶人於 15年96- 月4年5月 ○抗和米救谷名 ﴾ * 94年4月 - 95年3月 **.** N:426-月11年86 名置纸者海界 ○式光素效容 かな 牛皮目标 拉声 × (裁刊款)4名 治治/年月 1.大整办於 我那就因子 〇式七分系 Ŕ 2.垃圾办公 医成:九代节院 スガナイ 4~ ** × Ŧ 这的目

* 经过来公司包 站灰白木蛙巾 外去防武谷志 兴西代, P农民 * * 2. 旗孔式无旗识验矣 1. 斗林於 1 5. 戴威沙洲光学学艺名 () 改成 化 於 成 化 於 () 於 2.中压液构色学 1. 九首知句茶 (M9)11-5.7991 分允 気が) 2 本尺子会置以女 1 9.起并被治院机1 1996.4-9(6M) 1.天平十甲點 1 3.气枯色海1 4.HPLC X 1 7.索留关约 1 5.加热板 1 8.显微线 1 6 4 40 1 995.5-11(6M) 1. 经单次 1 2. HPLC 法沙湾 15.十萬天何大分並以次 1.参照高四老室所次 1 7.无恒火势许诸疾 1 14.自沙滨区农里 2 20.自动弧液器 2 10.金光型放放 1 4. 中華內部第一2 8.TLC 赤子勺 1 3.55 瓦次西路 2 13.公百关码 2 21.电子天平 1 12. 4 公表 1 17.离心机 1 2. 加片机 1 5.花水砂2 6.培养器 1 4.Ta. 3.战体深度宛发器 7.在外外沿海路口 8.加热电磁概样 2 1 经城中周举5 老子者 HPLC代 9.李絮然会 2 2.电子水中 1 1994,4-9(6M) 一次长月至9 10.美交表 1 11.混合器 1 1. HPLC 1 4.pH 1 4 * ** 福本 24 Sul 1.故乐的路

太

裳 *

¥3

≺

の田小風花は今

* 芸

包花出卷板(梦红圈归步

②抗生物质 (現状選条)

巴兹头老宇(寄台

(二字

1997,12(2W)

選定)石田以而, 1987-

1998.8(1M)

1996.7 - 1996.8(ZM) (对析体中子) 仍抗生物质的效价以及 HPLC的应用

好付外原代來

*5

3.四环六环为各的分别

及水分割於聯。

华及物理学的效价

○共利卡尼須州老

〇九年本的位本

Ħ

(物理化学分

* 3.2

〇大七七张

年命2.读完益明四三章本

天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业类别)

1998年7月 作成

今大字出文大子 日本下路在大平 (2) 五世間北京令 的日本年代年 **B**流水大学 の名か大学 Ħ 43 日保修出 Ą. 4 Ħ 푠 87 玉 400 -4 表端上把双中招生出巴 六字、据据思必渐举本 · 生野中的有效成分 约分表,故甸及品质 · 有效成分的药理的 98年4月-98年11月 生药及中药制剂的省 **叙成心乞乞介护,枕纹** 水压) お名をお I.HPLC 本 谷少 | 田州北及中括金老名女好 | 田宇治州北及中北東出 包括文字全包把到本田 ①生 花的有效成分的统 GC、HPLC 以及GC-MS 品級和方法以及成分的 对土药药理以及各种各级 中药中有效成分统品的 **以取方治以及外以此行** 分前一枚取死的形分形 中村就至中東西忠州 我的研究方法的指导 97年4月 - 98年3月 (凡本、水灰) 代本本左右在代 (410:50 年4) 及风景分析水 英水水火 华旗厂水埕龙、龙头龙灯 〇中年四日以前沿的水本 好3項四中把留少老故水 环心会(包括生然拓挺) . 九托中我的衣托分茶 化把握状颗粒牛都無力 也, 並出) 包括救产企 'n · 米子中药 (药用收 96年4月-97年3月 , 我公长托忠本党(不必以本本十次公 1. 定對关於1. 无分形华际代 1.电热板 2 2.关炎其2 彩色指字 彩色指字 (4) (4) * 松本院2路四年就的今 州外用的药用植物以 谷,大学华年本典口中 少我以的老年老男弟 (刘纪今老羽记指学) · 松放成分,会配香松 **刘昭及中部刘里的仪器 | □刘邦及中部刘州的 赵冠众昭毕中中郑彭** 及生活中有效成分的 并提从超物中放取有 我我分父父父女女女女 囚斗站以中松坐也忠 · 科托中在效成分包令 BB被就存已的顾伽斯 · 大花及中枢创型的 ·HPLC、OC成今今年一·治有成今君革左告 左放大平年少人刊起) 95年4月 - 96年3月 今本(CC,HPLC 公及 (九四: 本四本) 白頭谷亦思指印 (黄志, 川及) 京忠社紀分派 1.瓷革纹 1 女站今年(2) · 对公安会现今班咨询 CC-MS) 4 1.HPLC1,2.GC 1,3.UV 11.松子双光光度1,2.详用 81.4. 包光星放长1, 5. 不分米有的考水包 大怒及中枢愈愈的 对于企业中代据及 中的组织包含物外 及的假你就就先好 原於代說 1.3.次光有逝 **公照中部規格与公路** 分产品专用方法等然 关 HPLC 使用生药及 中枢意然中紀亦物少 月5年56-月7年5月 协会的现状形态 子花式券の会好 (年日: 月秋) (华蚕、大灰) (成十四次) 分配结合 7. 故处 **シャ (1)** 1.4.电子天平2.5.小型 93年11月-94年3月 地心女1.6安置光岭1. ۲, 53 特計 松水 * 15 的 本本技术 3.米祖土坊 於一分形放於於不分故 1.我婦人玩,中部監然 2. 华极生药,中药剂 达 新的花頭状點方法的 中超生生中的有效。 忠文部代五都和少家 生药,中药溶性成分 在公司巴布代子子 1. 水蛙 专浴 2.拉瑟赤泽 治治/年月 饭块. 中胚 # 计算 专家设

Ü

4. 在分次次分九二

自必成液而2, 6.pH斗,7.

7.或卷译聚烷次四1.8.

35.

五年,6一年五十日之

<u>ar</u>

也也参与天1.8.天砂1

天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业类别)

	なな	成形成的双王治司 在成二年老台灣				ĸ	等的品位数	技术员	天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业交别)	张 张	专业交别)		16	7-8-860	1998年7月作成	
		浴路/年月		Ke年76- HII 本66	24年4月	-95年3月	95年4月~96	月三十96~	96年4月-97年3月	<u> </u>	97年4月 - 98年3月	月11年86-月2年86	54	枸	껸	
		华展		7. 7%	14 -	*	班	× 25	**	\$ \$	M.	误终年				
	到这的目标	每回每一个自己的。 在1000000000000000000000000000000000000	有列巴斯				95.10 - 96.3 断白颅、常即白颅、常即白颅、分离状态令 安北京的库尔	1. 10 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		U 41 4	97.4—97.7 好白城、乾野白、岁愁秋的今岁少兴安风					
-	4 14 1	· 朱	: 22 :										日本四			
	6 20	2.海路卡尔	乔安 ù				95.10 - 95.12 哪四碗、都架白完 令孝松研羅宗 七三獎英	\$ £	96.3~96.5 附白领、萧尔白公 举少许免委员 大琴运行	6. 5. 4. 8. 3. 4. 8. 4.	96.3-96.5 图白成、糖蛋白分 免液化学及多糖分析的指挥力涂的碱汽 中 大野四个 外水子的硫化 4.97.7 次外沿在97.4-97.7 大野四个 97.4-97.7		内支援机构		. ,	
	0 \		4		94.11 - 祭白廣,	95.7 格蛋白、多	多糖质的生化学研论	李章	96.6 - 97.2 蛋白质, 整蛋白,		分務廣恕光代华森樹茶		0 \ ~		○介於花準大學○西华國花園本園○西華國花園本館○日本華光祭	14. de
	2 人页培养		治爷还 幹		44 44 11 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 1	§	1	分析及 1.4 指 关 数 也 次 95.11 - 96.6	业白质,轮蛋白的分析及环省长药品质受标准的制订费也质,轮蛋白的分析及环省长药品质受标准。 按哲尔 5-11 - 96.6 97	1600年 2000年	4许 张 莉 97.10 - 98.3		在书实施技术		·	•
	的女亲母		6 3 <u>□</u>	1.自办运收收12.电子水平13.分分量指线第二杯1.4克罐水等13.0比许,6克运干铁堆17.几米参13.建产铁汽汽,3.2克线水111.过多路112.共为发113.共后部分113.共后部分113.共	7.大手1,3.冷 5.冷1,5.pH中, 1.8.光光光 并1,11.在第 26令1.		1.农光公1.2.未到十茶花1.3.农光寮外农进路1.4.分枝灰.2.5.pH中,6.自必参平1.7.完日水谷1.		1.原单位 1 2.HPLC 1 3.自动交流在1	3. 大本. 2. 2. 2. 2. 3. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	1.冷冻干燥器1、2.燥焰纹13.决卡用打印灯1,4.PCR仅,5.炒煮残2,6.米冷霜,7.为圆米冷霜			1.24		
	_]	ンプラング	-\ <u>\</u> .					-				H F.				İ

年42

在於四四部四次軍

天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业类别)

田田女田祝記会 ○因立因其以令 1998年7月 徐成 如以此外紀年 路口生年光外 ન્મ્ 岭 * ۳ * - X * * 81 代 文 * * 3.世花花成老年令(马五 4.年花花成名子子(马子 1.智涵云梅衣室仍女1 1.指导病理组织标本 1.定型的海炎病理组织学 11.实验的物定及用品的交 SZOP思想な(中国会) 98年4月-98年11月 1.水丘峰有政務少也愁思 1.状物物勘例把新 2. 土枯枯放评价的 ١¥ 5.气体或引擎 1 2.病理组织学的诊断 2.支泽原及实验宣传理技 2.杂给动物的句条 μ_I 2.济决机 1 14、沈本技术。 4.黑成中1 1. 矮交区 11名指や 梤 2.赵瓦盆国的西州字亦专出 3.大托托放子会包兴势少 1.壮控右纹式分艺分 | 1.误回存冰柜识弱技术 2.赵 屈 并当死的 华南兴 刀,对于2五分四学刀 创分者到少汉非沃指 1. 道、说成白妆记 97年4月 ~ 98年3月 末臨 (年十)凡数华 亦是汝 (五倫凡山) **从以过代公分於** 大 (坂本本) 景女 1 4 へ サ 水 争 ₹ 4 左於 (分面的技术学 华哈代戴完法斯沙 2.指學基础的知效 96年4月-97年3月 2 2.你会前, 母前 1.指导端照组织标 4.自动血球计数仪 包敛(内田稻井) 5.这用汉国第1 医外部及四月八 1.分學生現役 1 95.5-95.10(6M) 6.家食米學 1 (五海丸四) 2.加热板 1 习及应用) 本的刺做, 10000 光室 4 95年4月-96年3月 中全五、中有兴势 大台谷八名話や 汉场, 生物特风 **成床华 (公园的枝** 1. 宋公屯, 存氧化 赞, 气艺苔环络东 1.四步兴的战时1 53 2.组织脱水固定 95.5-95.10(6M) 大学乙戌囚圧) 3.切片机 1 4.级群众 1 S.HPLC 1 95.10(1M) 1 医浆 村井牧水 操作 4 1.分法長 (-80℃)1 94年4月-95年3月 **>**} 2.秋光南壑路 1 2.自步将本語 2 4.自必参保部1 1. 农民民党 1 蜡 93年11月 - 94年3月 ÷, 03 <u>ui</u> 经净额 東日 指字字型 以粉香州老存 活动/年月 これの命令本 1. 水益专沃 类 2.粒型专次 代的子会 位成:光星 벅 特女 3. 7 选的目 全体系 ≺ ΥK Ż ¥. ۵,

天津药品检验技术项目合作状况一览费(专业类别)

1998年7月 给成

员尔亚内比尼京年 唐溪·哈顿印第(OMP、OLP》)

						\vdash			1511年80~日7年80	*	*
	治动/年月		93年11月 - 94年3月	24年4月 - 95年3月	95年4月 - 96年3月	月 96年4月	1 - 97 4.1	アンナタケー ブラナノス	701-104-11-104	۱	1
	平		X 1	17.	2 # 33	5 3 45	5×	¥ 4	最终年		
烈达的目标	(大) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	年戊目标		1.CLP 的存款方法 2.左户段场的标准,存 法标准长的布服,CMP 概合存款及铁路市股 3.安全路、每往设验。 任步位文的方法	1.外衛因法安部人 各名國華		日本 CLPが完全 文金米市	CLP 的概念及重要性	指导技立符合 CLP 动物实验室		and the second control of the second control
	大学专	1								-	63 44
小水水流		程中限期	: .	对上说第1项张中刘雄 存了指导94.4 (1M)	其小济络2处a条本生裁额7治。 94.4(1M) 年份公司, 每在实 帮, 何老芬代藏口指 今95.10(1M)		4上送項目的連座 96.11(1M)中路本男 96.11(1M)内保充司	对上述项目在厦门做了妆屋、1分级 1分级 97.12(1M) 内隔花印	动物试验实及使用器材的消毒,又宜,饲养学98.6(1M) 中面加	本因内支援机构工工 法共产共产共	₹.
こ人P人切培养・		松中层型		1.因为汨玡路。——校园的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的公司的	1.服芯用恕吗。 我压进的格下现场 免实验及军程的约 用责者讲工命的赞 启、安全技、每在兴 等、任老校代技术 95.4 - 9(6M)	1594 22 *				C/口研修实施机关	
的女女众	1. 次朱的3.	2 m			·····································	₩ .:					
_	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 3 3 3 3 3	N							h 22		

天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业类别) **从本金收四田水本** 냋

峥

五 全部工生研究 〇萬分孫叛記 **死**(允邻老版 1998年7月 作成 支 | 坊板部) Æ 本 体实施机关 ۵. * × * o 1998.7 ~ 1998.9(2M) 1998.10 ~ 1999.3(6M) 拉纹全所请报给理网 Intranet, 以使徒检验 汉使徒检验业务计算 业务计算机化管理(新林建物片於 (如 為. 老袋 Internet ⑸ 98年4月-98年11月 4.我站亭上指用品 以学妙說照后少大裁 3.各种软件开发 2.父苑电极 13 1 松旗处理技术 1.服务电脑2 温樹、 中型) 日字样有技术 へくまない 5.兴食 (中央) 石河南西 岩 Network 系统。 有纹 丸化(湖南、中巡) Internet 5 Intranet, 〇松枝处理,松安何 业务协调员后方支援 97年4月-98年3月 电超2(图书给) 构筑全所标报管理 星运办, 少田林子 我学照柏机 1 复分找 4 (M1)2.7691 **拉箱**攵1 业务协调员后方支援 D₃ 1.与天学市卫生局, 96年4月-97年3月 北京口有於外回谷 於 Network., 北外扮明贝尼方支枝 95年4月-96年5月 **办年例引回张稿** ₹3: 1.原应出分类的 年代用いる Machintosh 在我们而现 4 7 8 ,死还有的引命运移, 如华乙和华钢铁船条 去的计算机的城。此 1.所内检验数据组告 94年4月-95年3月 分在我代的祖 **电解CPU486** (8分分字例) গ 十一次 93年11月-94年3月 (公本林本的之) 也/ISCPU486 杨威: 成党后提(中华机学说) 花中玉 指导图的 64 B 2.存出火井市 8 成年处的有以 1.分散大部門 活动/年月 图 1.治験状态的 法 中華大帝國 2.拉瑟办浴 1. 水並赤深 × 壯

食品口光研究 **然(化学物质**

が枝がり

雪

74

菜

约本

①瓦克隆斯岛

-93-

李宏珍照

д 🔅

o <

完全2

故於因如因因於年

天津药品检验技术项目合作状况一览表(专业类别)

东京大学政办 在京大学及车 1998年7月 作成 田単代中心。 **老年光子ら** મ્ ٧3 变 * □ * 5E 支统机关 T 会为中心, 知定其体的 组成了宋哈展亦物姓 以实验展亦物处理表近 成亦物系统, 正在使用 120 **场处照依制, 存所**为 刘用实验成并物处理 胡士恭本的宋裕廣本 环状化学(灰柱抽效型 98年4月-98年11月 展中初如用割牲補 实验展亦物处理技术 98.9-99.2 宋本华 庆乔物处况试剂 校长) 华木克尔 97.6.10~6.23 マサ 沙赵回次终风, (共日年谷) ŧڂ 然然. 华刀尖铅成本物处理 **环境化学(成本物处理** 园林过命, 建汽成柱 艺族长哲识, 成长, 9744 A - 9843 A 孙左回天然啊! 展本物处理识判 技术) 给木皮尖 李孝斌, 陈裕, 97.6.10 - 6.23 故出伏翰威华勃然 1 96年4月 - 97年3月 理的重要性 뱻. 双的问题,所内几 拉出兴势展中拉外 月八十96-月7十56 23 中长代财产汉, 4 ~ ۶¥ 月5年56-月4年76 궦. 五年28-五二十年6 £3. ţ, 指华区 年使目标 指本石谷 在城、成年七年五年大 水子至水 浴池/华月 ĸ 我就如外 **₩**~ * Ż 灰 到法员的 全然外的 Q,

日方/中方投入实绩一览表

(本依深風及路林投供-1)

1998 年7月

1997年(H9年) 1998年(H10年) 11/5 ъ, 14 5 6 7 89101112 1 2 b4 5 6 7 89101112 1 2 4 4 5 6 7 89101112 1 2 4 4 7 10 3 4年年次4/15 .; / 0:/6 1996年(H8年) (超期上次为长期95/5/26-96/9/26) i S 2/26 11/16-12/15 11/16-12/15 4/1 11/5 - 11/12 11/5 - 11/12 9/1 ----- 11/30 10/15 -- 11/12 > $9/6 - 0\bar{\epsilon}/8$ 6/1 --- 1/31 95年(H7年) 5/26 - 6/3 5/26 - 6/3 9/15 ---- 12/12 11/21 - 12/3 10/30 - 10/4 2/01 --- 05/01 10/30 - 10/5 10/31 - 10/5 2/27 2/27 8/23 --- 11/19 6/23 -----9/19 1/7 --- 8/14 6/1 ---- 7/31 % | | 94年(H6年) 5/18 4 5 6 7 89101112 1 2 1/20 — 1/27 1/20 (6) 釋悉, 卒 (抗州老, 教牟敦赞) (2) 基生液疗(质至管理CMP 10 片容光衣舞(雄字母崇写 (1) 古木子华 (成分企及CMP (3) 农东光和(原本本率声) (2) 松重全知(利芳型田) (8) 共三年十(単年今年高) 13 七口代於(年本今本語) 5 大半近人(阜本今字等) 四部於於今(在公分本屋) 子算年 | 1993年(H5年) (五合首符 (超台分杂) (3) 廿三黄芩(引苍充华) (9) 三原结夫(先前就格) (2) 公山 光 (中包存置) (8) 大仓平出(西房園园) (3) 大草恋介(私龙允杂) (5) 化添用的(利根或布) (6) 令我一族(如孫隨近) (1) 我是您每(把的衣帮) (2) 秋村井管 (外招或巷) (3) 张本然将(松的衣賴) (4) 大层如美(仪器分析) (5) 状各下久(昭記分於) (3) 华牧川特(川然今春) (S 木 本 (CC-MS) (2)上口河河(以西方方) (以医母) 况 未降(5) (2) 旅春兰华(堪的赤帮) (1) 为平 对 (伯於廣厄) (1)大台平區(古洛曼區) (8) 右井敷水(財民) 겆 李 ¥ 尼尼 冰温卡法

- 95 -

日方/中方投入实绩一览表

(专於淡港及昭林旅供-2)

写弁の

4 5 6 7 89101112 1 2 1998年(H10年) 4 5 6 7 89101112 1 2 3 7/15 - 9/14 - 8/18 - 8/27 7/11-9/6 7/1-8/31 - 6/10-6/23 - 5/24-6/21 7/1 – 4/10 – 7/7 – 5/17 – 5/26 - 5/14-5/22 -- \$/17-5/26 1997年(H9年) 9/21 - 9/26 9/21- 9/26 8/21-10/2 11/16 — 11/14 4 5 6 7 89101112 1 2 3 11/30 -12/20 — 10/27-11/2 10/27-11/2 10/27-11/2 10/27-11/2 9/12 --- 11/2 8/30 - 10/5 7/8 — 8/31 9/6 ---- 11/9 95年(H7年) 1996年(H8年) 'n 4 7 10 94年(H6年) 9 1 4 5 6 7 89101112 1 2 3 4 (1) 大型石炭 (原字合字唇: 抗代长) (13) 本三代式(來字母字母: 州代學) (10) 片於光本為(文語分於: 司米) (2) 钙砂白川(花州桥:双州岩) (1) 汝此并者 (大昭: 吊有吳谷 (5) 内海龙司(西堤:组织城隍) (1) 粉本皮尖(实验胰库物处理) (8) 四合首舞(文紹分聲: 与深) (6) 内田培养(招祖: 宜钦成祖) (4) 項田乡福寺(縣於公紀安城) (2) 我头统大(你还依状分枝) (3) 紅路 成(河风安水牧) (1) 子三以引(摩尔布宇居) (8) 城川益川(雄岩布皇后) (6) 对本本公(在字如字四) (四十分分以人及上令中四) 子年年 1993年(HS年) (1) 莎井 丸 (女婦少草) (6) 中田琴子(志裁說教) (3) 以田知中(大抵武存) (3) 玩车会学(六郎超解) (1) 大赵远介(兴为允仲) (4) 林本智服(社代学) (3) 火灰石冶(大松) F 楽 自定 医髓中窝

华两

100 P

日方/中方投入实绩一览表(专家派建及器材模條-3)

1998 年7月

- 97 -

啪啊

日方/中方投入实绩一览表

(深进专家及昭林校供-4)

年43

	配介3			((深调专件及邸老被宋七)		成为1998年7月
		子祥年	子 年 1993年(H5年)	1994年(H6年)	1995年(H7年)	1996年(H8年)	1997年(H9年)
	鱼	灰	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 89101112 1 2	7 89101112 1 2 34 5 6 7 89101112 1 2 3 4 5 6 7 89101112 1 2 3 4 5 6 7 891011 12 1 2 3
<u>.</u>	-		O液相, 气相 (TC-10A) 奈尔分光光或字 (UV-2201)	〇灰中或状、点谷の超月天路線、電韻米浴	O内当后あ来 HPLC、死葬契特女	の略称 校 礼者、 郑心 九	O毛油管电泳 HPLC, FIA 分析仪
	村	本本度	红冬今光光成中(FTIR-8101) 设有心心。也如谐识别知	也多少价格,pH4 HPIC 11V 名码基本品	白些状的核风、杏木杉、茯苓丸	HBLC、居筑沟、远所众一类是水坑道籍,及远游	LPLC、小型汽件一个压液站的部分
			DH中、今季結構成心也、由	夏杏子我砂	京貞起寫載, 於五次帮	对忠于强弘、诚然的论纹	兴争兴、沈苏均其初
	£ ‡		子光子於	白母海次次與	*	△蛋白质测定仪	乙華去述所女
	· 		△发印机、空洞路、摄像档。	44	4级区必然、宁远村		具体的方数、 財政部
			高子型调长风、南影卷、寂垮				○七十七年五十二〇十十十二十二〇十十二十二一〇十十二十二一〇十十二十二十二十二十二十二十二十
		林林到下年成					
	J		OOHB,中生有水,也引步后,以1	〇级初,就林村,加热路林村。			
8-		说作器材	女务,	AS种的车,尤其是AS,ASASAS,ASASAS,ASASAS,先锋米			
:							
		于算年	子年年 1998年(H10年)				
	520 Mil	Я	4 5 6 7 89101112 1 2 3				
. :	*		〇河統治				
	松		4 五番米遂所女				
	M	· 1:	我也仍不敢				
:	<u>*</u>				:		
		技术列下平度					
	<u></u>		0				
		故令略本	∢			:	
	-						

(注1)记录长期专父,在期专父的社名,指学项目,派遣时间(带口题的柱状图)(注7)智材标中,记录每年项日本归夏仪器合当池园更仪器的合计全模合主要证图。(1)())

田方/中方投入实锁一览表

核状研修员、当地活动经费、中方投入实缘及其它一

1998 年7月現在

-5/13-11/16 5/20-11/16 6/3-11/30 4 5 6 7 891011 12 1 2 3 6/3-11/30 这论(专想写题) 这种(超铅分析III-IR) 川照然 (昭昭分於) 甘油沃 (抗代书版) 我形在(既留分於) 1997年(H9年) 9/30-3/24 而安於(稅站裁代前) 4 5 6 7 89101112 1 2 3 4四杏(沙氧成分) 找厌母 (无愁故怀) 月尾男(抗有长) 妆物校 (米约华) **必晓穴(抗生物脂分析)** 大學院令布局大整原 项 随(毒把保腔分析) 宋 迁(今小州老余) 四點谷(中紀今座) 忠 四(本有材料) 1996年(H8年) 9/2-2/25 8/19-5/15 \$/12 马文诗 (生物利用成) S/28-11/30 -故文法(沿廣信理) 兰左桥(昭城初朝) \$/12-11/16 -5/12-11/16 -8/7 好海州 (州代》) 王太(中祖武布) 12/24 7 89101112 1 2 3 4 5 6 7 89101112 1 2 -11/12 11/21 11/6 1995年(H7年) 6/26 ■ 9/22 茶硝(CC-MS) - 9/22 東路 (抗生素) 3/29 5% 521 521 \$/8 1/30 4/3 10/6 — 11/22 711 11/24 形红(JICA文中省数字会) 1994年(H6年) · 东於大学就學会 4 5 6 7 89101112 1 2 3 4 5 6 . ::: 3/29 **6**7 少年年 1993年(HS年) 1997年 1994# 45661 1996-∝ : \$7. ÷7 日本环络 2名 包室 C/P

8 ALA

哪

74

田方/中方投入实绩一览表 谷衣研修员、当地活动炫赏、中方投入实绩及共仓-2

军卒3		4.6.4K.e.	校校评梦贝、当周治书路贤、于公众人长贤人六的二		1998 年7月現在
(2013)	子祥华	子算年 1998年(H:0年) 月 4 5 6 7 89101112:23			
C/P 20 冬年谷	1998. 4	1998年 6个月 — 工业成(生物体与型4名 6个月 — 新成明(标准处理)4名 6个月 — 1 次(标准处理)6个月 — 1 次(标准处理)6个月 — 2 次4 (次数模率)	(我想你已想站会好) 想报终强 ((想理说强) (以势殿中访此驻校本)		
	200			林两	+ 1

神啄

日方/中方投入实绩一览表

橡皮研修员、当地活动短费,中方收入实验及共完-3

					1000 1 100 100	1007 \$7 (10 (6)
	学城 片	1993年(H5年)	1994年(H6年)	1995年(H7年)	12264(124)	
		4 5 6 7 39101112 1 2	3 4 5 6 7 89101112 1 2 34 5	4 -5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 89101112 1 2 3	4 5 6 7 891011 12 1 2 3
	A 小豆 A 入水车		40% £	30万元	20 <i>T K</i>	20% £
:	C/P 及字参取员					
	现今年於今					\$
÷ .	字述為新			:	西北部、北	因右右、动物兴奋党及造工者
٠	日からかけっ				:	
	尤因是汉司					
	对分函 被入实体	(中年白恩) 昭林进入安 因为资本两人的 产学标分数 死过的脊线出分数 化过滤器 化过滤器 化过滤器 医多络黄 玩玩吃啥站	坎 计字接待数 外页语序型处数 建风砂谷钴灰	() 10年195名 市政向安县 10年195名 市政有安县 105名 安安技术民间 155名 1053	(周成院宗昭载)至 98/6 昭存刘宪—20台—宋明台,宋明宁迟天浴—40一 出帝田宁祥武一句	2款)型 98/6 现存 实验台·冰米学设备-415台 米参用许鲜吃1 台,实验跟较-45 台
i.		计差配台部 過行我消敵 安封	₹(STATE IN LOAD		****
	安		8/23 - 8/31	未必遇	9/17-9/24 夏夏荒中遊布函(8分)	8/14-8/21 第四指华这位汉(8名)
, · , .			ママンととなるという。	1/ 70	97/1/30 - 2/6	98/2/4 - 2/13
	负责人会议		*K	400/1	林安 (於於) 大命平出	华办(东京)大仓平的
				华办中国内抄遍贝会议	然大中因の存留に今次	你办中国内办证以会议
	专出四个以		春谷中国五安治文今次	同於(緣本光)		数方状 (编井光)
	国内参员令学	医对格沙	如深回國而民語等亦	专家回国治定期举办	专家回国后定期华办	本公回因而以茲於今
	西華中華受察支日	₩				•
	15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 1		3 to 4 to 5	4		

(汶1)C/P 日本研诊指中, 记录技名, 研修项目, 研修时间。

(汉2)当冯治安驾新指中,记歌薛平成当周以今敕督张清计巡察的合计支出级。

(注1)对方因投入实验程中,记录含 C/P 部门职员化武人牧,支出于坏损、主要投供器材率。

(近4)崩救因折中,记录函数因名、人数、欲遇时间。

(说2)故归人会汉, 妙岚风命汉哲中, 记歌出成者名、辞令遇点,辞令时间,

田方/中方投入实绩—览表 裱液研修员、当边活动组要、中方投入实验及开它与

11 2 8661

11年3			1998 ATM	
少年午 治別	子乐年 1998年(日10年) 月 4 5 6 7 89101112 123			
名か日本人公女	20% &			
C/B 及法學問以本於軍事以本於軍分別				·
华赵杨春山后谷安今天将				
光溢倒狀湯素為以為大水				
田州高	字令因南因(6名)			
负责人会议	中国负责人会议			
妆宝贝令汉	中国协调员会议			
国内委员会等	低时然办			

元农治分与七年来 口西沿

○ 福米日惠 後日 公田 登

(汉2)当马治动效费然中,记张母年周当地山芬教书宋端中刘贵的合计支出院。 (注1)C/P 日本研修栏中、记录故名、研络项目、研修时间。

(注1)对方国族人实法指中,记录会 C/P 却门职员配置人数,友出于其项、主要权供器材序。

(注4)调查图指中,记录调查图名、人类、深通时间。

(法5)负责人会议、协调员会议指中,记录出度者名、华办地点、华办时间。

天津医薬品検査技術プロジェクトデザインマトリックス(Project Design Matrix = PDM)

	A A L THE STATE OF	1 2 1 1 2 2 2 2 1 (t Toject Design Matrix	
プロジェクトの概要 Narrative Summary	指 標 Verifiable Indicators	指 摂 測 定 法 Means of Verification	重要な外部条件 Important Assamption
開発目標 GOAL ・中国で流通する医薬品の品質確保を通して、有効性および安全性が確保される。	・中国薬局方(薬典)を追補、改訂して国際 基準に適合させる。・中国医薬品品質管理標準が国際基準を満た す。	・衛生部の統計資料 ・プロジェクトによる調査データ ・薬品監督管理法規集 ・中国薬局方(薬典)	・中央政府(国家科学技術委員会、衛生部)と天津市(科学技術委員会、衛生局、薬品検査所)の複数の行政機関が有機的に連携し、協力体制を構築する。
プロジェクトの目標(効果) Project Purpose ・天津医薬品検査所の薬品品質管理レベルおよび 業務技術水準が向上する。	・ 薬品の分析技術の水準 ・ GLP, バリデーションの概念普及度 ・ 試験法の開発数	・中国側および日本側プロジェクト進歩状況報告・中国薬局方(薬典)	・中央政府と天津市の医薬品検査行政への取り組みが維持 される。・中国薬品生物制品検定所及び各省の薬品検査所などの業務関連 機関が連携し、協力関係を構築する。
プロジェクトの成果 Results/Outputs 1. GLPが理解され、実行される。 2. 分析法パリデーションが理解され、普及される。 3. 医薬協検査技術が向上する。 4. 検査環境が整備・拡充される。 5. 医薬品試験検査に関する技術者が育成される。 6. 医薬品品質管理に関する共同研究が行われる。 7. 他省の医薬品検査所との技術、研究情報の交換が行われる。	1-1. G L P P P P P P P P P P P P P P P P P P	1-1. 1-2. ププププププププププププププププププププププププププププププププププププ	 ・カウンターバートが研修成果を他の所員に伝播する。 ・中国国内行政機関(国家科学技術委員会、衛生部)の支援が十分に行われる。 ・中国薬品生物制品検定所、各省検査所の協力が十分に得られる。
プロジェクトの活動 Activities 1-1 医薬品におけるト外で概念をGLP理念を移転する。 2-1 分析法パリデーカン理念を移転する。 3-1 機器分析技術分野の指導を行う。 3-2 抗生物質分野の指導を行う。 3-3 化学薬品分野の指導を行う。 3-4 生薬分野の指導を行う。	投入 Inputs 日本 専門家 チーフアドバイザー わりょうかつ	中 国 運営管理者	・検査業務に係わる消耗品、備品の補充が停滞しない。 ・カウンクーパートが離職しない。 ・通訳が不足なく配置される。 ・検査所員の職業意識、勤務規律が確立している。 ・帰国研修員が研修先との連絡を絶やさない。
3-5 生物化学薬品分野の指導を行う。 3-6 薬理・生物試験分野の指導を行う。 3-7 品質管理・検査管理の指導を行う。 3-8 検査資料及びデータのコピニッ管理方法を指導する。 3-9 天津検査所の設備・機能状況の調査を行う。 3-10 他の検要所の実態調入を行う。 4-1 各種必要複数材の導入を行う。 4-2 実験検査室や専用施設の改築・増設を行う。	調整員 短期専門家 12名程度/ 研修員 5名程度/年 機材供与 6000万円程度/年 専門家携行機材	スタッフ 秘 書 事務員 通 訳 タイピスト 運転手	前提条件 ・医薬品の審査業務への協力は行わない。 ・毒性学領域では生物工学的技術の協力は行わない。 ・機器を稼働させる十分な電力は供給される。 ・医薬品検査のための水が供給される。 ・専門基礎知識を有するカウンターパートが配置される。
4-3 現有の機器の整備を行う。 4-4 水質の改列性を行う。 4-4 水質の改列性を行う。 4-5 機材の合理化でで/Pに検査技術の指導を行う。 5-1 各分野にたけた機管を行う。 5-2 大小のではたい、はでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では		施設資金運営費	

3 プロジェクト投入実績

(1) 専門家の派遣

分類	氏名	專門分野	担当業務	派遺期間
調査1	内山 充	事前請查団	総括(団長)	93/03/17~93/03/23
調査1	石出 広	事前調查団	薬事行政	93/03/17~93/03/23
煙査1	古瀬一麿	事前調査団	品質管理	93/03/17~93/03/23
増査1	鈴木有津子	事前臍査団	協力計画	93/03/17~93/03/23
調査1	飯村直子	事前調査団	通訳	93/03/17~93/03/23
質査2	大熊誠一	長期調査	総括兼生化学薬品	93/09/23~93/09/29
調査2	杉井 篤	長期調査	化学	93/09/23~93/09/29
调査2	古瀬一麿	長期調査	品質管理	93/09/23~93/09/29
講査2	水野左紋	長期調査	抗生物質	93/09/23~93/09/29
蹲査2	小嶋茂雄	長期調査	薬品分析	93/09/23~93/09/29
調査2	守安正恭	長期調査	生薬	93/09/23~93/09/29
調査2	佐藤岳幸	長期調査	薬事行政	93/09/23~93/09/29
調査2	鈴木有津子	長期調査	協力計画	93/09/23~93/09/29
調査2	飯村直子	長期調査	通訳	93/09/23~93/09/29
調査3	内山 充	実施協議調査団	総括(団長)	93/11/03~93/11/09
調査3	手島邦和	実施協議調査団	薬事行政	93/11/03~93/11/09
調査3	大熊誠一	実施協議調査団	生化学業品	93/11/03~93/11/09
調査3	大西英之	実施協議調査団	技術協力	93/11/03~93/11/09
調査3	鈴木有津子	実施協議調査団	協力計画	93/11/03~93/11/09
調査3	飯村直子	实施協議調査団	通訳	93/11/03~93/11/09
短期1	杉井 篤	チーフアト・バイサー	(機器分析)	94/01/20~94/07/01
短期2	柴崎利雄	薬品分析		94/01/20~94/05/20
長期1	藤井 晃	業務調整		94/01/26~98/11/05
短期3	守安正恭	機器分析	emiljer om er	94/05/18~94/08/03
短期4	矢崎廣久	薬品分析		94/06/01~94/07/31
短期5	今枝一男	チーフアト・バイザー	(機器分析)	94/06/23~94/09/19
短期6	矢原正治	生薬規格		94/07/01~94/08/14
調査4	内山 充	計画打合せ調査団	総括(団長)	94/08/23~94/08/30
趋查4	水野左敏	計画打合世調査団	抗生物質	94/08/23~94/08/30
調査4	島田静男	計画打合せ調査団	品質管理·検査管理	94/08/23~94/08/30
調査4	小川義之	計画打合せ調査団	薬理	94/08/23~94/08/30
調査4	尾崎幸紘	計画打合せ調査団	生薬	94/08/23~94/08/30
調査4	吉田易範	計画打合せ調査団	薬品審査	94/08/23~94/08/30
調査4	鈴木有津子	計画打合せ調査団	協力計画	94/08/23~94/08/30
調査4	飯村直子	計画打合せ調査団	通訳	94/08/23~94/08/30
短期7	柴崎利雄	薬品分析		94/08/23~94/11/09
短期8	大倉洋南	f-271 N'49'-	(生化学)	94/09/15~94/12/12
短期9	内山 充	セミナー講師	薬品行政	94/10/30~94/11/04
短期10	大井尚文	セミナー講師	薬品分析	94/10/30~94/11/04
短期11	北川常廣	セミナー講師	薬品分析	94/10/30~94/11/04
短期12	精方弘泰	セミナー講師	薬品分析	94/10/30~94/11/04
短期13	4日の14年 山口定男	セミナー講師	薬品分析	94/10/31~94/10/05
短期14	竹村 哲	GC_MS	Menhal At	94/11/21~94/12/03

分類	氏名	専門分野	担当業務	派遣期間
長期2	山口定男	薬品分析	(チーフアト・バイザー代行)	95/02/27~96/02/26
長期3	柴崎利雄	薬品分析		95/02/27~97/04/15
短期15	藤生康彦	品質管理GMP		95/05/26~95/06/03
短期16	青木行雄	品質管理GMP		95/05/26~95/06/03
短期17	青柳伸男	生物利用度		95/06/01~95/07/31
短期18	内山 充	計画調整		95/08/30~95/09/06
短期19	貴志豊和	生薬規格		95/09/01~95/11/30
短期20	山川敏郎	生物化学		95/10/05~95/11/12
短期21	佐竹元吉	セミナー講師	生薬	95/11/05~95/11/12
短期22	石橋無味雄	セミナー講師	薬品分析	95/11/05~95/11/12
短期23	村井敏美	薬理	エンドキシン毒素測定	95/11/16~95/12/15
短期24	川原信夫	生薬規格		95/11/16~95/12/15
長期4	大倉洋甫	チーフアドハイザー	(生化学)	96/02/03~98/03/04
短期25	大野尚仁	生物化学 微生物学		96/03/28~96/05/03
短期26	内倉和雄	薬品分析		96/04/01~96/09/30
短期27	藤原 博	抗生物質分析	(力価試験等)	96/04/03~96/07/02
短期28	貴志豊和	生薬規格		96/06/01~96/09/06
短期29	配島由二	抗生物質分析	(微生物)	96/07/08~96/08/31
短期30	森本和滋	生化学		96/08/30~96/10/05
短期31	塩田寛子	生薬規格		96/09/12~96/11/02
調査5	寺尾允男	巡回指導調查団	総括(団長)	96/09/17~96/09/24
資査5	水野左敏	巡回指導調查団	抗生物質	96/09/17~96/09/24
調査5	宿前利郎	巡回指導調查団	生化学	96/09/17~96/09/24
調査5	小嶋茂雄	巡回指導調查团	業品分析	96/09/17~96/09/24
調査5	佐竹元吉	巡回指導調查団	生薬	96/09/17~96/09/24
調査5	高瀬誠司	巡回指導調查団	薬品審査	96/09/17~96/09/24
調査5	小川容子	巡回指導調查団	協力計画	96/09/17~96/09/24
調査5	花園 遜	巡回指導調查团	通訊	96/09/17~96/09/24
短期32	小川義之	セミナー講師	楽理	96/10/27~96/11/02
短期33	黒川雄二	セミナー寡師	毒理	96/10/27~96/11/02
短期34	中路幸男	セミナー講師	薬理	96/10/27~96/11/02
短期35	尾崎幸祉	セミナー講師	生業薬理	96/10/27~96/11/02
短期36	内田雄幸	薬理	組織病理	96/11/16~96/12/06
短期37	内藤克司	薬理	組織病理診斯	96/11/30~96/12/20
長期5	大度和美	機器分析		97/04/01~98/11/05
短期38	杉井 篤	機器分析		97/04/10~97/07/07
短期39	中田琴子	情報処理·検査管理	情報関連調査	97/05/14~97/05/22
短期40	徳永能史	機器取付、操作指導	ネリグラフシステム	97/05/17~97/05/26
短期41	須藤 基	機器取付、操作指導	自動濟定器	97/05/17~97/05/26
短期42	尾崎幸紘	生薬薬理		97/05/24~97/06/21
短期43	鈴木良実	実験廃棄物処理調査		97/06/10~97/06/23
短期44	失原正冶	生薬規格		97/07/11~97/09/06
短期45	石橋無味雄	薬品分析	品質管理	97/07/15~97/09/14
短期46	内倉和雄	薬品分析·機材分析	キャピラリー電気泳動	97/07/01~97/08/31
調査6	寺尾允男	巡回指導調查団	総括(団長)	97/08/14~97/08/21
調査6	水野左敏	巡回指導調查団	抗生物質	97/08/14~97/08/21
調査6	宿前利郎	巡回指導調查団	生化学	97/08/14~97/08/21
調査6	小輪茂雄	巡回指導調查団	薬品分析	97/08/14~97/08/21
調査6	佐竹元吉	巡回指導調查団	生薬	97/08/14~97/08/21

449 🗖 🚲	当《 氏名 》	等性的数据的	5 2 2 担当象物 5 / c i	阿林斯斯
調査 6	津田重誠	巡回指導調查団	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	97/08/14~97/08/21
調査6	古貨聡子	巡回指導調查団	協力計画	97/08/14~97/08/21
調査6	花園 遜	巡回指導調查団	通訳	97/08/14~97/08/21
短期47	益田多満喜	機器据付、操作指導	自動滴定装置	97/08/18~97/08/27
短期48	大野尚仁	セミナー講師	生物化学・微生物学	97/08/21~97/10/02
短期49	早川尭夫	セミナー講師	生化学	97/09/21~97/09/26
短期50	水野左敏	セミナー講師	抗生物質	97/09/21~97/09/26
短期51	吉岡澄江	薬品安定性		97/10/01~97/10/15
短期52	坂上吉一	抗生物質分析	•	97/10/29~97/12/06
短期53	内幕克司	薬理	組織病理診断	97/11/21~97/12/19
短期54	高橋佐喜子	抗生物質分析		97/12/06~97/12/19
短期55	坂本 豊	薬理	免疫毒性	98/02/28~98/04/30
短期56	佐藤和雄	機器修理、操作指導	機器修理チーム	98/04/05~98/04/11
短期57	宇佐美直樹	機器修理、操作指導	機器修理チーム	98/04/05~98/04/11
短期58	大島雅嗣	機器修理、操作指導	機器修理チーム	98/04/05~98/04/11
短期59	石橋無味雄	薬品分析	機器修理チーム	98/04/05~98/04/18
短期60	内藤克司	チーフアドバイサー	(組織病理診断)	98/04/10~98/11/05
短期61	高橋佐喜子	抗生物質分析		98/04/10~98/08/09
短期62	尾崎幸紘	生業薬理		98/06/26~98/08/14
短期63	中西 散	薬理	落下菌測定等	98/06/26~98/07/24
短期64	矢崎廣久	機器分析	`FT+IR等	98/07/01~98/07/31
短期65	内倉和雄	機器分析	キャピラリー電気泳動等	98/07/01~98/09/01
短期66	石田説而	抗生物質分析	阻止円測定器調整	98/07/01~98/08/09
鱈査フ	寺尾允男	評価調査団	総括·薬理	98/07/20~98/07/28
調査7	水野左歓	評価調査団	抗生物質	98/07/20~98/07/28
調査7	小嶋茂雄	評価調査団	薬品分析	98/07/20~98/07/28
調査7	津田重城	評価調査団	業品審査	98/07/20~98/07/28
調査で	北原恭子	評価調査団	評価計画	98/07/20~98/07/29
調査7	田中美佐子	評価調査団	通訳	98/07/20~98/07/28
短期67	鈴木良実	廃棄物処理技術		98/07/28~98/09/05
短期68	川原傭夫	生業		98/07/28~98/08/2
短期69	谷本 飘	薬品分析	不正楽地方セミナー講師	
短期70	未定	コンピュータ技術		98/07/30~98/09/2
短期71	未定	生化学		
短期72	未定	セミナー講師	業理	98/09/21~98/09/20
短期73	内山 充	セミナー講師	薬品行政	98/09/21~98/09/20
短期74	小輪茂雄	セミナー講師	藥品検査(ICH)	98/09/21~98/09/20
短期75	未定	セミナー講師	薬品養査	98/09/21~98/09/20
短期76	未定	薬理	染色体異常	•

派遣専門家

長期-1

派遣専門家 | 藤井 晃 | 派遣期間 | 94年1月27日~98年月11日5日 (4年9ヶ月)

指導分野と実績:業務調整

- ①プロジェクト活動全般に関しての業務調整を遂行。
- ②チーフアドバイザーをサポートし業務の円滑な運営を推進。

長期.2

派遣専門家 山口定男 派遣期間 1995年2月27日~1996年2月26日 (1年間)

指導分野と実績:(薬品分析)

チーフアドバイザー代行及び薬品分析技術の指導

- ①薬品分析技術指導。
- ②GLP に関連して試験室の環境整備。

長期-3

派遣専門家 柴崎利雄 派遣期間 1995年2月27日~5月26日 (3ヶ月) 延長 ~ 1997年4月15日 (1年10月)

指導分野と実績:薬品分析(品質管理)

- ①検査環境の整備、化学実験室の GLP。
- ②一般分析技術指導。
- ③短期専門家実務指導支援。
- ④分析用ガラス機器の洗浄環境の整備 (無微量分析
- ⑤薬学教育及び「日中英薬品検査用語集」等の実務指導教材の作製。

長期.4

派遣専門家 大倉洋甫 派遣期間 1996年2月3日~1998年月3日4日 (2年1ヶ月)

指導分野と実績:(チーファドバイザー)

- ①プロジェクトの管理・運営を行い、日本側総括責任者としての業務を行う。
- ②医薬品検査に係わる技術移転、検査・実験環境の整備、人材の育成、医薬品の品質管理に関する共同研究、プロジェクト成果の全国広報と普及などの計画の策定と実施。

長期.5

派遣専門家 大屋和美 派遣期間 1997年4月1日~1998年月11日5日 (1年間6ヶ月)

指導分野と実績:(薬品分析)

- ①化学分析、機器分析(特に HPLC GC 等の分離分析、熱分析に関する新技術)
- ②GLP、分析精度の向上、実験環境の整備
- ③各種セミナー講演

派遣専門家 杉井 篤 派遣期間 1994年1月20日~7月1日(163日間)

指導分野と実績: (チーフアドバイザー及び機器分析)

プロジェクトの基盤整備及び技術指導

- ①実験環境の調査と整備
- ②研究指導(機器分析に関する基礎学力の向上をはかる)
- ③計画の立案及び助言

短期-2-

派遣専門家 柴崎利雄 派遣期間 1994年1月20日~5月20日 (120日間)

指導分野と実績:(薬品分析)

薬品検査部門の技術指導

- ①分析機器の点検
- ②試験検査の内容、研究内容の調査
- ③分析技術の技術指導
- ④薬学知識の教授。

短期-3

派遣専門家 守安正恭 派遣期間 1994年5月18日~8月3日 (78日間)

指導分野と実績:(機器分析)

生薬成分の HPLC 分析と標準品の HPLC による取得法の指導

- ①中薬室の実験設備、保有器具を調査し、指導に必要な環境整備を行う。
- ②生薬及び中薬製剤の HPLC による分析の技術指導を行う。
- ③生薬の分析に必要な標準品や中薬から未知の有効成分を抽出、分離する方法の指導。
- ④生薬の HPLC 分析法及び NMR による成分の構造決定法を講義、セミナー実施。

短期-4

派遣専門家 矢崎廣久 派遣期間 1994年6月1日~7月31日 (61日間)

指導分野と実績:(薬品分析)

医薬品分野における機器分析 (FT-IR 等) の技術指導

- ①医薬品分析用機器の設置環境の確保・確認、理論及び使用方法の説明と実習実施。
- ②化学2室の実験設備及び保有分析機器の調査と実験計画に基づく器具調達を実施。
- ③市販医薬品の分析における標準品の作成法、目的成分の抽出方法及び機器分析 (TLC, HPLC,FT-IR 等)を利用した分析技術の習得を実施。
- ①医薬品分析における基礎理論と応用技術の講演、講義、セミナーを実施。

短期-5

派遣專門家 | 今枝一男 | 派遣期間 | 1994年6月23日~9月19日 (89日間)

指導分野と実績:(チーファドバイザー)

- ①プロジェクトの基盤整備及び技術指導
- ②セミナー講演

短期.6

派遣専門家 矢原正治 派遣期間 1994年7月1日~8月14日 (40日間)

指導分野と実績:(生薬規格)

生薬規格に係わる技術指導

- ①中薬中の成分抽出、分離、精製及び構造解析法の指導
- ②単離精製した標準品を用い HPLC による分析法の指導
- ③実験室の改修(特に導入機器の設置場所指導)
- ④中薬の抽出・分離法、単離した化合物の構造解析法に関するセミナーを実施

短期.7

派遣専門家 柴崎利雄 派遣期間 1994年8月23日~11月19日 (89日間)

指導分野と実績:(薬品分析)

プロジェクトの基盤整備及び技術指導

- ①薬品分析技術向上するために必要な試験環境整備改善の初試案作成
- ②検査所組織機能の観察及び助言
- ③供与機材の活用度、試薬管理体制等指導
- ④第1回日中薬品分析技術セミナー講演

短期-8

派遣専門家 大倉洋甫 派遣期間 1994年9月15日~12月12日(89日間)

指導分野と実績:(チーフアドパイザー)

- ①第1回日中薬品分析技術セミナーの実行と次期セミナーの策定。
- ②赴日研修予定者等への薬学日本語教育及び所員への英語論文作成法講座。
- ③超高感度分析技術指導。
- ④供与機材及びその他機材の使用、管理状況の調査。

短期.9~13

	内山 充		1994年10月30日~11月4日 (6日間)
	大井尚文		1994年10月30日~11月4日 (6日間)
派遣専門家	北川常廣	派遣期間	1994年10月30日~11月4日(6日間)
	緒方常弘		1994年10月30日~11月4日(6日間)
	山口定男		1994年10月31日~10月5日 (6日間)

指導分野と実績:(セミナー講師) *第1回日中薬品分析技術セミナー

内山 充「日本における新医薬品承認審査に関わるガイドライン」

大井尚文「光学活性化合物の分析」

北川常廣「エンザイム・イムノアッセイの医薬品分析への応用」

緒方常弘「バイオフベイラビリティと生物的同等性」「薬品溶出度試験法」

山口定男「HPLC を用いた医薬品試験規格設定時の留意点」

*大倉洋甫「薬品分析技術の現状と展望」

派遣専門家 竹村 哲 派遣期間 1994年11月21日~12月3日 (13日間)

指導分野と実績:GC-MS

GC-MS(ガスクロマトグラフー質量分析)に係わる技術指導

- ①装置の状態及び使用状況の調査。
- ②測定法を設定する時のバリデーションデータの取り方、考え方の指導。
- ③帰国赴日研修員のフォローアップ。

短期-15~16

派遣専門家 青木和雄、藤生康彦 派遣期間 1995年5月25日~6月3日(10日間)

指導分野と実績:(医薬品品質管理・監視指導)

医薬品 GMP の徹底と監視指導方法の取得(セミナー実施、下記の内容を講演)

- ①世界における GMP の国際動向について。
- ②日本における GMP 管理の方法と経験について。
- ③医薬品製造設備と衛生管理について。
- ④GMP 検査の実施上の留意点について。
- ⑤製薬企業の実地指導の方法について。

短期-17

派遣専門家 青柳伸男 派遣期間 1995年6月1日~7月31日 (61日間)

指導分野と実績:(生物利用度)

- ①生物学的同等性の評価法の技術指導
- ②溶出試験技術の技術指導
- ③生体試料の分析技術指導
- ④GLP への対応を指導

短期-18

《遣専門家 内山 充 派遣期	間 1995年8月29日~9月3日(6日間)

指導分野と実績:(計画調整)

- ①分析に関する指導、並びにプロジェクト全体計画、供与機材、派遣専門家及び赴日研修員についての協議。
- ②プロジェ外開始後現在までの薬品分析技術協力における技術移転、人材教育及び機材供与の上での疑問点や問題点の解決と指導。
- ③1995年後半及び1996年度について、供与機材の選定、派遣専門家と赴日研修員の概要協議、その他プロジェ外遂行に当たっての各種の問題協議。

派遣專門家 貴志豊和 派遣期間 1995年9月1日~11月30日 (91日間)

指導分野と実績:(生薬規格)

- 生薬品質規格に係わる技術指導
- ①第2回日中薬品分析技術だけの準備と実行
- ②生薬及び生薬複合製剤の品質規格と品質管理の基本理念の指導
- ③中薬入参、西洋人参及び黄耆の TLC、HPLC による分析
- ⑤中薬関連研究開発技術の講演

短期-20

派遣専門家 山川敏郎 派遣期間 1995年10月5日~11月12日 (39日間)

指導分野と実績:(生化学)

生化学の特徴としての酵素反応に関するに実験技術指導(下記内容を指導)

- ①酵素反応における生成物の比色定量を最少自乗法による検量線の作成。
- ②酵素反応に対する水素イオン濃度の影響。
- ③金属酵素の特性。
- ④酵素活性化剤の添加効果。
- ⑤酵素反応の経時変化及び酵素量との関係。
- ⑥酵素反応速度論。

短期-21~22

指導分野と実績:(セミナー講師) *第2回日中薬品分析技術セミナー

佐竹演願「原料生薬の品質規格と試験方法」

石橋演願「不正医薬品の鑑定技術」

*貴志演題「日本における生薬複合製剤の品質管理と製造管理」

短期-23

派遣専門家 村井敏美 派遣期間 1995年11月16日~12月15日(30日間)

指導分野と実績:(薬理・生物検定)

エント、トキシン試験法に係わる技術指導

- ①エンドトキンン試験法に係わる技術指導 (帰国赴日研修員のフォローアップ)
- ②薬理室の現状調査(細胞培養実験に係わる実験環境の整備)
- ③カウンターパートの知識、技術向上のための教育指導

短期.24

派遣専門家 川原信夫 派遣期間 1995年11月16日~12月15日(30日間)

指導分野と実績: 生薬標準

生薬成分の分離、精製に関する技術指導

- ①分取用低圧液体クロマトグラフ装置の構築
- ②生薬成分の分離、精製技術の普及
- ③天然物化学の基礎知識の向上
- ④コンピューターを利用した化学構造式作成法の指導
- ⑤NMR の現状視察

短期-25

派遣専門家 大野尚仁 派遣期間 1996年3月28日~5月3日 (37日間)

指導分野と実績:(生化学)

- ①グル濾過 HPLC による蛋白質製剤の分析—インシュリン製剤の分析法の確立-
- ②免疫化学的分析法の確立 (生体成分の抗原特異的微量分析法)

短期-26

派遣専門家 内倉和雄 派遣期間 1996年4月1日~9月30日(181日間)

指導分野と実績:(薬品分析)

薬品分析に係わる技術指導(下記のとおりの内容)

- ①複合製剤の HPLC 法
- ②光学活性医薬品の HPLC 分析
- ③固相抽出法を用いた血中医薬品の HPLC 分析
- ④カラムスイッチング HPLC による血中医薬品の分析
- ⑤HPLC の保守・管理
- ⑥地方セミナー (四川省) 講演
- ⑦キャピラリー電気泳動法の技術指導

頻期-27

派遣專門家 藤原 博 派遣期間 1996年4月3日~7月2日 (90日間)

指導分野と実績:(抗生物質)

抗生物質医薬品の力価試験を中心とした試験検査技術の指導

- ①抗生物質医薬品の力価試験に係わる技術指導
- ②抗生物質医薬品のその他の試験等に係わる技術指導

短期-28

派遣専門家 貴志豊和 派遣期間 1996年6月11日~9月6日 (90日間)

指導分野と実績:(生薬学)

生薬活性成分の精製、定性、定量分析

- ①生薬活性成分の精製、定性、定量分析に関する技術指導
- ②中薬室における応用研究に関する技術指導
- ③地方薬品検査所への技術移転のためのセミナー開催

派遣専門家 配島由二 派遣期間 1996年7月8日~8月31日 (56日間)

指導分野と実績:(微生物学)

無菌試験及び限度試験を中心とした微生物検査技術の指導

- ①微生物の取り扱いに関する意識の向上
- ②無菌試験及び限度試験を主とした医薬品全般の微生物学的品質管理試験法の 技術指導
- ③標準菌株及び分離菌株の長期保存法の技術指導
- ④微生物関連のセミナーの開催

短期:30

派遣専門家 森本和滋 派遣期間 1996年8月28日~10月5日 (39日間)

指導分野と実績:(生化学)

蛋白質や糖鎖含有蛋白質より構成される生物化学薬品の品質、安定性及び有効性を評価するための基礎理論、基礎技術の指導、並びに機材供与を含む実験環境の整備。

- ①遺伝子組換え Human Insulin の品質管理のための定量法として広く国際的に評価の高い逆相高速液体クロマトグラフ法 (RP-HPLC) の妥当性に関する研究の技術指導
- ②遺伝子組換え医薬品品質管理に関する国際調和の動向の紹介と技術指導
- ③糖鎖含有蛋白質製剤の構造と機能に関する研究現状の解説と技術指導

短期:31

派遣専門家 塩田寛子 派遣期間 1996年9月12日~11月2日 (52日間)

指導分野と実績:(生薬規格)

- 生薬品質規格に係わる技術指導
- ①生薬に含まれる無機成分の原子吸光による定量分析
- ②生薬に残留する農薬の分析

短期-32~35

派遣専門家	小川義之 黒川雄二 尾崎幸紘 中路幸男	派遣期間	1996年10月27日~11月2日 (7日間)
-------	------------------------------	------	-------------------------

指導分野と実績:(セミナー講師) *第3回日中薬品分析技術セミナー

小川演題「発熱物質試験及びエンドトキンン試験における標準化研究の国際的動向」

黒川演題「医薬品承認審査の国際的ハーモナイゼーション(ICH)について」

尾崎演題「日本における生薬及び漢方薬の薬理研究の動向」

中路演題「日本における安全性生物試験に関するGLP基準の実際」

短期:36

派遣専門家 内田雄幸 派遣期間 1996年11月16日~12月6日(21日間)

指導分野と実績;(毒性病理学)

実験動物毒性病理学における病理組織標本作製手順及び関連基礎分野の技術指導

- ①実験動物における病理組織標本作製手順
- ②病理組織標本作製に関する機器の使用説明及び管理
- ③毒理学における安全性評価と病理学的検査の位置づけ
- ④実験動物における病理学的検査
- ⑤実験動物の概念及び飼養管理の基礎、実験動物の種類、動物室の飼養環境

短期-37

派遣専門家 内藤克司 派遣期間 1996年11月30日~12月20日 (21日間)

指導分野と実績:(毒性病理学)

病理組織標本の作成技術及び病理診断技術

- ①自動染色機での染色法。
- ②病理組織標本作成の注意点を指導。
- ③基本的な組織学及び病理学を指導。
- ④顕微鏡の調整法、使用法及び標本見る前の注意点を指導。
- ⑤自然発生病変及び薬物投与による病変についての定型的な病変についての診断法を 類微鏡を使って指導。
- ⑥実験動物の飼養法及び飼養環境について講演。

短期:38

派遣専門家 杉井 篤 派遣期間 1997年4月10日~7月7日 (89日間)

指導分野と実績:(機器分析)

機器分析実務講座の指導並びに講師担当

- ①機器分析実務講座の実施計画案の作成及び実施
- ②プーラスプリマーカラムを利用するテトラサイクリンエピマー及び関連化合物の HPLC
- ③キノロン系抗菌剤オフロキサシン光学異性体の HPLC
- ④所内セミナー講演、地方講演

短期-39

派遣専門家 中田琴子 派遣期間 1997年5月14日~5月22日 (9日間)

指導分野と実績:(情報関連調査) 情報管理調査に関する技術指導

- ①コンピュータの利用状況調査及び天津・北京地区のコンピュータ関連機関の調査
- ②World Wide Wed 上のデータベースについてデモンストレーション及び講演
- ③天津市薬品検査所のコンピュータ管理化について提言

派潰専門家 得永能史 派遣期間 1997年5月17日~5月26日 (10日間)

指導分野と実績:機器据え付け

①ポリグラフ・電磁血液計の据え付け

②操作指導講習会

短期:41

派遣専門家 須藤 基 派遣期間 1997年5月17日~5月26日 (10日間)

指導分野と実績:機器据え付け

①滴定器及び天秤用プリンターの据え付け

②操作指導

短期-42

派遣専門家 尾崎幸紘 派遣期間 1997年5月24日~6月21日 (29日間)

指導分野と実績:(生薬薬理)

①生薬薬理学の基礎的知識、試験方法及び結果の統計解析についての指導

②生薬及び生薬製剤の薬理作用の検討

多用途計測装置 (ポリグラフシステム) を用いての生体現像の測定

短期-43

派遣専門家 鈴木良実 派遣期間 1997年6月10日~6月23日 (14日間)

指導分野と実績:(環境化学)

①実験廃棄物処理に関する技術指導

②実験廃棄物の取り扱い状況の把握及び啓蒙教育

短期-44

派遣専門家 | 矢原正治 | 派遣期間 | 1997年7月11日~9月6日 (58日間)

指導分野と実績:(生薬)

中薬からの標準化合物単離法に関する技術指導

- ①センナ葉からの sennosideA、B の標準品の単離法の確立及び分離法の確立
- ②板藍根の成分の単離と標準品の作製
- ③原子吸光スベクトルの操作の再確認
- ①機器分析セミナー (核磁気共鳴法、質量分析法) の実施
- ⑤地方講演(山東省薬品検査所)

派遣専門家 石橋無味雄 派遣期間 1997年7月15日~9月14日 (62日間)

指導分野と実績:(医薬品品質管理)

①医薬品に残留する有機溶媒の分析方法に関する技術移転を目標に指導を行う。

②厚生省が作成したテキスト (Rapid Examination Methods against Counterfeit and Substandard Drugs, Tokyo, 1997) を用いて不正薬品セミナーを開催し、テキストの実用性についての検証及び評価を行い、且つセミナー実施により天津医薬品検査所の下部機関に対する指導能力の向上並びに人的資質の向上をはかる。

③医薬品品質管理技術の地方移転を目的に地方講演を実施。

短期-46

派遣専門家 内倉和雄 派遣期間 1997年7月1日~8月31日 (62日間)

指導分野と実績:(機器分析)

キャピラリー電気泳動に関する技術指導

- ①機器分析実務講座(ホトダイオードアレイ検出器、キャピラリー電気泳動)の実施
- ②山東省薬品検査所における地方講演
- ③キャピラリー電気泳動の解説と医薬品分析への応用
- ④キャピラリー電気泳動による製剤成分の分離定量
- (5)キャピラリー電気泳動によるステロイド類の分離
- ⑥キャピラリー電気泳動による Anisodamine 異体性の分離

短期-47

派遣専門家 益田多満喜 派遣期間 1997年8月18日~8月27日 (10日間)

指導分野と実績:(機器の据付・操作)

- ①薬理室及び生化室におけるマイクロプレートリーダー取り付け及び操作方法
- ②薬理室におけるコンドチキシン・(1-3)-β-D-グルカン測定試薬の方法
- ③血液中ェント* チキシン・(1-3)- β -D-グ ルカン測定方法

短期-48

派遣専門家 大野尚仁 派遣期間 1997年8月21日~10月2日(42日間)

指導分野と実績:(生化学)

- ①免疫化学並びに多糖分析法の技術指導
- ②第4回日中薬品分析技術セミナー講演

短期-49~50

指導分野と実績:(セミナー講師)*第4回日中薬品分析技術セミナー 早川演題「バイオテクノロジー医薬品の特性解析、品質・安全性評価」

水野演願「キノロン系抗菌素の光毒性反応とその発見機構」

「抗生物質医薬品試験法について」

*大野尚仁「免疫調整剤の薬効と分析方法」

派遣専門家 吉岡澄江 派遣期間 1997年10月1日~10月15日(15日間)

指導分野と実績:(医薬品安定性)

①医薬品安定性に関するセミナー実施 ニューニ

「安定性試験ガイドラインに関するセミナー」

「医薬品の安全性試験に関する基礎セミナー」

- ① Nimodipine の光安定性に関する研修計画の作成及び予備実験の実施
- ② 帰国赴日研修員 (唐素芳) のフォローアップ。

短期-52

派遣専門家 坂本吉一 派遣期間 1997年10月29日~12月6日 (38日間)

指導分野と実績:(抗生物質)

抗生物質及びポリマーの HPLC による分離分析に関する技術指導

- ①HPLC によるβ・ラクタム系抗生物質及びポリマーの分離分析
- ②ゲル濾過がムクロマトグラフィーによるβ-ラクタム系抗生物質及びポリマーの分離分析
- ③インターネットによる化学情報取集方法などの指導

短期-53

派遣専門家 内藤克司 派遣期間 1997年11月21日~12月19日(31日間)

指導分野と実績:(毒性病理学)

- ①病理組織診断技術の移譲及び GLP 関連の指導
- ②病理診断技術の移譲及び GLP 適合実験動物室の改造についてのアドバイス

短期-54

派遣専門家 高橋佐喜子 派遣期間 1997年12月6日~12月19日 (14日間)

指導分野と実績:(抗生物質) 抗生物質の検査業務の視察

- ①抗生物質の検査技術並びに機材の視察調査
- ②セミナー開催(抗生素室内)

短期-55

派遣専門家 坂本 豊 派遣期間 1998年2月28日~4月30日 (61日間)

指導分野と実績:(変異原性試験)

微生物を用いる変異原性試験技術及び実験室管理技術の指導

- ①細菌を用いる変異原検出技術の指導
- ②無菌作業を含めた実験室管理技術の指導
- ③変異原物質安全管理技術の指導
- ①データの信頼性及び整合性確保技術の指導

短期.56~58

佐藤和雄 派遣専門家 宇佐美直樹 派遣期間 1998年4月5日~4月11日 (7日間) 大島雅嗣

指導分野と実績:機材修理チーム

①島津(HPLC、GC、分光光度計及びクロマトスキャナーなど)及び日立(分光光度計、原子吸光光度計及びアミノ酸分析計など)の納入機器に対し、点検・修理などを実施。

②操作方法の説明会を実施。

短期.59

派遣専門家 石橋無味雄 派遣期間 1998年4月5日~4月18日 (14日間) 指導分野と実績: (機器分析) ①機器分析技術指導及び分析機器の点検

②機材修理チームへの助言及びサポート

短期-60

派遣専門家 内藤克司 派遣期間

1998年4月10日~11月5日(7ヶ月余)

指導分野と実績: (チーフアドバイザー)

①プロジェクト運営管理

②組織病理診断技術の指導

③GLP概念の指導

短期:61

派遣専門家 高橋佐喜子 派遣期間 1998年4月10日~8月9日(4ヶ月)

指導分野と実績:(抗生物質分析)

①抗生物質の力価試験及び無菌試験の指導

②阻止円測定装置の基本知識の教授

③不正薬品地方セミナー講演

短期-62

派遣専門家 尾崎幸紘 派遣期間 1998年6月26日~8月14日 (50日間)

指導分野と実績:(生薬薬理)

- ①成分分離と活性成分の薬効薬理の指導
- ②帰国赴日研修員 (芮菁) へのフォローアップ
- ③薬効薬理、生薬薬理のセミナー、研究指導の実施

短期-63

派遣専門家 中西 徹 派遣期間 1998年6月26日~7月24日 (26日間)

指導分野と実績:(落下細菌測定)

落下細菌測定による動物室の清浄度保持

- ①動物室および使用器材の滅菌・消毒の実際
- ②動物室内の実際的な清掃および清浄度保持
- ③動物室内の環境整備および保持
- ④実験動物の飼育管理の実際

短期:64

派遣専門家 内倉和雄 派遣期間 1998年7月1日~9月1日(2ヶ月間)

指導分野と実績:(機器分析・キャピラリー電気泳動)

- ①CEを用いての高分子、バイオ医薬品及び抗生物質関係の分析技術指導
- ②帰国赴日研修員のフォローアップ
- ③CEに関するセミナー、研究指導、報文の作成を実施

短期-65

派遣専門家 石田説而 派遣期間 1998年7月1日~8月9日(40日間)

指導分野と実績:(抗生物質分析)

- ①自動阻止円測定装置のプログラム作成
- ②抗生物質の力価試験および無菌試験に伴う全般的な指導

短期-66

派遣専門家 矢崎廣久 派遣期間 1998年7月1日~7月31日 (1ヶ月)

指導分野と実績:(機器分析・FT-IR、HPLC、GC)

- ①2000年版中国薬局方に収載される「参照赤外吸収スペクトル」作成の指導
- ②FT-IRを学習した帰国赴日研修員のフォローアップ
- ③HPLC.GCを用いた2000年版薬局方試験法の開発に関する指導

短期-67

派遣専門家 鈴木良實 派遣期間 1998年7月28日~9月10日(45日間)

指導分野と実績:(実験廃棄物処理)

化学物質の管理と安全化処理の方法を指導

- ①化学系廃棄物の分別収集システムの構築と実行処理を実施
- ②外部機関に対する委託処理の判断基準の考え方を指導
- ③実験室レベルでの廃棄物処理の方法を指導

短期-68

派遣専門家 川原信夫 派遣期間 1998年7月28日~8月27日(1ヶ月)

指導分野と実績:(活性成分分離)

- ①標準品を作成し、生薬及び生薬製剤の品質保証のための定量法指導
- ②最新の生薬成分の精密分離・高純度化技術の指導
- ③生理活性物質分離の方法論のセミナー及び研究指導

短期-69

派遣専門家 谷本 剛 派遣期間 1998年8月6日~9月17日(43日間)

指導分野と実績:(薬品分析)

- ①不正薬地方セミナーの開催と技術指導
- ②HGC製剤のELISA法等の免疫化学的方法による測定法の確立(生化学)
- ③酵素剤 (urokinase、lysozyme) などの新しい分析法(改良法)の実習指導

短期:70

1998年7月30日~9月29日(2ヶ月) 派遣期間。 派遣専門家「石川恵司」

指導分野と実績:(情報処理) *コンピュータ技術

- ①ネットワーク構築に関する技術的指導
- ②ネットワークの一般的な利用方法に関する技術指導
- ③ネットワークソフト作成の技術的指導

短期.71

1998年 月 日~ 月 日(日間) 派遣専門家 未定 派遣期間

指導分野と実績:(生化学)

バイオ医薬品分析。

- ①糖たんぱく糖鎖の分析法を指導
- ②バイオ医薬品に関するセミナー、研究指導の実施

短期-72~75

派遣専門家	内山 充 小嶋茂雄 未定	派遣期間	1998年9月21日~9月26日 (6日間) 1998年9月21日~9月26日 (6日間) 1998年9月21日~9月26日 (6日間)
	未定		1998年9月21日~9月26日(6日間)
投道分野上生	(待・(セミナー)	#師) *第5回	7日中医薬品検査技術セミナー (総括)

内山演題「検討中」

小嶋演題「検討中」

未定演題「検討中」

未定演題「検討中」

短期:76

1998年 月 日~ 月 日(日間) 派遣専門家一未定 派遣期間

指導分野と実績:(毒性薬理)

染色体異常試験

- ①細胞培養法法
- ②予備試験の用量設定及び本試験法
- ③染色体異常の判断と結果の評価法

短期-77

1998年 月 日~ 月 日(日間) 派遣専門家|未定| 派遣期間

指導分野と実績:(毒性薬理)*培養肝細胞

肝細胞を用いた毒性試験

- ①肝臓細胞の調整方法と初代培養方法
- ②遊離肝細胞と初代培養肝細胞を用いる毒性試験法
- ③薬品の細胞毒性の評価法

	(2) 研修員	受入
日本での研修期間(日数)	氏 名	研修 内容
1000年度(0月)		
1993年度(2名)	老 (母)	1 ± 4. 44. 65. 八 1C
1994/03/29~1994/09/22 1994/03/29~1994/09/22	表 博 林 珊	抗生物質分析 GC-MS
1994/03/29~1994/05/22	4下 7到	GC-Mp
1994年度 (5名)		
1994/05/31~1995/01/30	馬文詩	生物利用度
1994/11/07~1995/03/29	王 潔	生薬規格
1994/11/24~1995/08/07	李海生	生化学
1994/10/06~1994/11/22	袁文玮	品質管理
1994/10/06~1994/11/22	劉樹春	品質管理
1995年度 (5名)		
1995/05/08~1996/02/07	寿国香	活性成分
1995/05/08~1995/11/12	苑慶華	生物検定
1995/05/11~1995/11/21	王延明	抗生物質分析
1995/06/26~1995/12/24	唐素芳	薬品安定性
1995/11/06~1996/05/12	黄哲甦	生化学
1995/04/03~現在	張 紅 J	ICA 枠文部省奨学金留学(生薬)
1996年度 (5名)	an ()	
1996/05/12~1996/11/16	芮 蓍	中薬薬理
1996/05/12~1996/11/16	劉 軍	薬品分析 FT-IR
1996/05/28~1996/11/30	王麗琴	薬品分析
1996/08/19~1997/02/15	左志輝	薬品分析
1996/09/02~1997/02/25	郭福慶	抗生物質分析
1997年度 (5名)		
1997/05/13~1997/11/06	曹暁雲	抗生物質分析
1997/05/20~1997/11/06	韓晶	海性薬理
1997/06/03~1997/11/30	呂曙華	中薬分析
1997/06/03~1997/11/30	屈 颖	毒薬麻薬分析
1997/09/30~1998/03/24	强 莉	分子生物学
LUCITO LUCY IN I	100 AV	73 7 20 17 7

1998年度 (4名)			
1998/ / ~1999/ /	郭成明	情報処理	
1998/ / ~1999/ /	劉雲	薬理病理	
1998/ / ~1999/ /	王樹嵐	生体内薬物分析	
1998/ / ~1999/ /	吳貴華	実験廃棄物処理	

研修生受入

(1)

研修員名	袁 博	Yuan	Во	研修期間	1994/03/29~1994/09/22
研修分野と ①抗生物質の ②リムルス記 ③NMR試験	の力価試 試験				

(2)

研修員名	林 珊 Li	n Shan	研修期間	1994/03/29~1994/09/22
研修分野と	実績: G C -	-MS技術		

(3)

研修員名	馬文詩	Ma	Wenshi	研修期間	1994/05/31~1995/01/30
研修分野と	実績 : バ	イオフ	アベイラビリティ	と生物同等性	
					•
<u> </u>		·			

(4)

研修員名 王 潔 Wang J	ie 研修期間	1994/11/07~1995/03/29
研修分野と実績:	· · · ·	
①中国産厚朴中のアルカロイド	の抽出分離	
②川芎有効成分の抽出		:
③日本漢方薬の分析		
(5)		

研修員名	李海生 Li	i Haisheng	研修期間	1994/11/24~1995/08/07
研修分野と	: 実績: バイ:	オ薬品分析と検査技	待	
1 1	*		•	

(6)

研修員名 袁文玮 Yuan Wenwei 研修期間 1994/10/06~1994/11/22 研修分野と実績:品質管理 ①「第5回アジア各国基本薬物生産と管理セミナー」参加。
②GMP管理方法の習得と日本における薬品生産現場の視察。

(7)

研修員名 劉樹春 Liu Shuchun 研修期間 1994/10/06~1994/11/22 研修分野と実績:品質管理
①「第5回アジア各国基本薬物生産と管理セミナー」参加。
②GMP管理方法の習得と日本における薬品生産現場の視察。

(8)

研修員名 寿国香 Shou Guoxiang 研修期間 1995/05/08~1996/02/07 研修分野と実績: 生薬活性成分の抽出分離 ①牛蒡子の主な活性成分抽出と精製。 ②连翘活性成分及び未知成分の分析。 ③陽桃枝中の未知生化合物の抽出分離及び構造決定。 *帰国後、中国薬局方のクロロゲンとパエオニンの標準品を製造。

(9)

(10)

研修員名	王延明 Wa	ang Yanming	研修期間	1995/05/11~1995/11/21
①抗生物質		方法、特に生物力		開発に関する試験の習得

(11)

研修員名	唐素芳	Tang Sufang	研修期間	1995/06/26~1995/12/24
	オーフェ	ンナトリウム安定性	の研究	
②薬品安定 ③ICH 及び		定 安定指針の習得		

(12)

研修員名 黄哲雞 Huang Zheshu 研修期間 1995/11/06~1996/05/12

研修分野と実績:生化学

- ①バイオ免疫と診断試薬
- ②アンチ RAW264.7 抗体、アンチ GRN 抗体の作成
- ③ELISA 法で THF 細胞抗体の分離分析
- ④雄ラットの生殖器官に TCDD の生化学的影響

(13) 文部省奨学金(JICA 枠) 東京大学薬学部大学院博士課程

研修員名 限 紅 Zhang Hong 研修期間 1995/04/03~現在

研修分野と実績:生薬

- ①高等植物の培養細胞を用いトリテンペンの生合成経路、その成合成に関与する酵素、 それを合成する遺伝子を明らかにすることを目的とした研究を行っている。
- ②組織培養細胞中の成分の決定を行い、タンナラン型トリテルペン合成酵素の単離を行っている。

(14)

研修員名 芮 菁 Rui Jing 研修期間 1996/05/12~1996/11/16 研修分野と実績:中楽薬理

①中国産连翘抗炎症作用及び活性成分の研究

(15)

研修員名 劉 軍 Liu Jun 研修期間 1996/05/12~1996/11/16

研修分野と実績:薬品分析 (FT-IR)

- ①顆粒剤風邪薬中にある黴状物の分析
- ②農業用、家庭用ゴム靴中の老化防止剤の定量分析
- ③高分子有機材料であるモノマーの唾液残留の定量分析

(16)

研修員名 王麗琴 Wang Liqin 研修期間 1996/05/28~1996/11/30

研修分野と実績:薬品分析

- ①HPLCによってH2受容体拮抗薬含量の測定
- ②硫酸mーヒドロキシイソプロピルアドレナリンの赤外吸収スペクトルに関する研究
- ③毛綱管カラムを使うGCの使い方

(17)

研修員名 左誌輝 Zuo Zhihui 研修期間 1996/08/19~1997/02/15 研修分野と実績:薬品分析 ①薬品分析において熱分析の応用 ②キャピラリー電気泳動の使用 ③偽薬の鑑別

(18)

研修分野と実績:抗生物質分析

- ①抗生物質の微生物力価測定において穿孔法と平板法の比較
- ②中国楽局方と国際調和案に無菌実験法の比較
- ③寒天平板直線法によってシトラファイン WJ-014の MIC 測定

(19)

研修員名 | 曹暁雲 | Cao | Xiaoyun | 研修期間 | 1997/05/13~1997/11/06

研修分野と実績:抗生物質分析

- ①赤外スペクトル、NMR、G C-MS、HPLC、無菌試験、エンドトキシン検査、 PCR試験などを含む。
- ②HPLCによって塩酸テトラサイクンリン系物質及び製剤中含量の測定 :
- ③アンピシリンポリマーの分析と定量法
- ①セファペラソン製剤の中主成分と関係物質の定量法

(20)

研修員名 韓 晶 Han Jing 研修期間 1997/05/20~1997/11/06

研修分野と実績:薬物毒性

- ①体外細胞法での細胞毒性研究、催突然変異試験
 - (a) 遊離肝細胞に対する Biphenyl の毒性

SIRC 細胞に対する Biphenyl 及びその代謝物の細胞毒性研究

- (b) Ames 法でphip の催突然変異性を測定する
- ②CHL細胞染色体に対する延生護宝カプセルの催奇性試験

(21)

研修員名 | 呂曙華 Liu Shuhua | 研修期間 | 1997/06/03~1997/11/30 | 研修分野と実績:生薬分析 ①生薬中の残留農薬の測定

- ②漢方製剤の Sennoside A と Sennoside B の定量法
- ③塩酸ベルベリンの IR、UV 及び HPLC 測定法
- ④三棱化学成分の研究

(22)

研修員名 研修期間 1997/06/03~1997/11/30 屈 颖 Qu Ying 研修分野と実績: 麻薬分析 ①HPLCによって尿中モルヒネ及び関係化合物含量の測定。 ②HPLCによって尿中モルヒネ及び代謝物の含量測定。 ③GC-MSによって毛髪中モルヒネ及び代謝物の含量測定。

(23)

研修員名 張 莉 Zhan Li 研修期間 1997/09/30~1998/03/24

研修分野と実績:分子生物学基本理論と技術

- ①ラット脳由来の LAMP c DMA をクローニングして、その DNA 塩基配列を測定する。
- ②この LAMP タンパクを大腸菌で発見させるために、クローニングした LAMP cDNA を 大腸菌発見ベクターにサブクローニングする。
- ③動物の脳から mRNA を調製する。
- ④ペルオキシンダーゼによるリグシンの合成と免疫薬理活性の検討。

(2.4)

研修員名 研修期間 1998/10/13~1998/11/06 郭成明 Guo Chengming 研修分野と実績:情報処理 ()ネットワークシステムの基本的操作方法修得 ②ネットワークの技術とその利用法修得 ③ソフト応用技術習得

(25)

研修員名	劉 雲 Li	iu Yun	研修期間	1998/05/20~1998/11/06
	: 実績 : 薬理: ・時の組織病:	病理 理学、毒理学の	技術習得	
(26)				1

研修員名	王樹嵐 Wang Shulan	研修期間	1998/05/20~1998/11/06
①生体試料 ②血液・尿	:実績:生体内薬物分析 中の薬物分析 中薬物の微量分析 というないでは ではないできる。		
(2.7)			

研修員名 具貴華 Wu Guihua	研修期間	1998/05/20~1998/11/06
研修分野と実績:実験廃棄物処理技術 ①廃棄物に関する基礎知識の習得		
②廃棄物処理のシステムを習得 ③各種処理実験方法を習得		

(3)カウンターパート配置一覧表

カウンターパート配置一覧表 (1)

1998年7月過程

海	1	板落物間/板落油傘技術・電梯に窓かるコンスチー				{ } }	2 代本県美	-																							
世 存 春	刊な単本化	<u> </u>	=====		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	市域村园				区 英雄 公 大士 姓 英號 守 华 郑 郑					12.4	457-参加 國立衛母					E .										
H	英聚					က တ	യ						Q 4											:	Š) 1	0	0 0	o D	. 1	;
	H10£(1998)	4 7 0					1														•										
	H9±(1997)	4 7 0 1		1 紀年遊職					:																						
状況	H8⊈(19	4 7 0 1					1	鸣	•												大部治解非母*****										
帽	H7#(4 7 0 1						,	村村				-								- BX										
R.	H6年(1994)	4701	1																				94/12								
	H5%(1993)	4 7 0 1	.[]	11/6	11/6	11/6	11/6	9/11	1/6	11/6	11/6	11/6	9/11	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	:			9/11	9/11		11/6	11/6	11/6 —
	## ##		1 6	水水	を国権の	●与食業	田業	轹		日文光	料	HI ∰	设置托	災害は	開開出	〇台联系	州部技	全	万口界	は、これの	0条 個	競術等	袋	東		K I		H :			
-	 \$	· 編	T	ŧ		 		H	_			-				·							· ·				بع	(t	1	[14]	

カウンターパート配置一覧表(2)

1998年7月現在

中 条二 確 机	1条先	技術数割/技術的権权 完発に整する3が4		 		図付海阜 (JICA中田阜南東)協議							旧状线胀体 (CICA地田印春町)過難				ar appella			\$70.50	<u> </u>	(新科製井) - 財場作動		· 	1	一		-, -		
村	 			. •			 ,						9.4 III										到 O か			<u>ന</u> ഗ		<u></u>		
-	-			_		က တ							o)			_							7>			0				
	H104(1998)	470		1				1		÷	:	化作過酶		•		50年记载	10世代	* C + Y				}								护 年 近 職
	H9#(1997)	4 7 0 1					95/6~确存			96/11~開休			国移民97/1)											然欠(36/1~) -						
兴	H8#(1	4 7 0 1				:)6			6	定年過職		日孫朱颢一波縣(日國物駅97/1)																回赶跑进第一	
į.	995)	4 7 0 1				震災 ———							双 书 ———————————————————————————————————																	
	H6£(1994)	4 7 0 1													95/7															
	H5#(1993)	4 7 0 1	11/6	9/11	11/6	9/11	11/6	9/11	9/11	9/1	11/6	9/1	11/6	11/6												11/6	1 % 1	11/6	11/6	
	を付け	\$0 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	路光單	紙	松	•	63	徴	野栗	出	金色茶		•	が女体の	φŒ	1	1	の多分が	足足	宗外形		◎左志師	英	対象女	◎瓶熊光	88. 田〇	後:出〇	〇部官位	内路港	
		_	1													1														_

カウンターパート配置一覧表(3)

1998年7月现在

海 教		以密為門/版密加部內 記得行題中の12分解										er the te	and and					-			a mylindig		4) (1) (1)	}							
世 命 称	出な印格化		其美市西	10 年 10 日			一名の後など		.	1	医乳液粒子				1	一跃跃张粒尺							助 4 秦 4 厢	E .		(1) (2) (2) (3) (4) (4)	F F F F F F F F F F	\$ \$ 1	以	† : :	国立聚染症
Ħ	树		90))		ļ	n O				დ დ				, i	6							σ	· ·		7	h	(D D		95
	H10#(1998)	0 7 0		多种品种型						1]	1	1		:							λ † •	(#)					· •	: 	数分	有久
	H9⊈(1997)	-	۱					—— 记年過職										64 地質					十分典 化二氢甲基乙二氢甲酯)	2000年2月17日 神経空間	25C 427 14F 57E 260						
块	H8±(1996)	,	$\left \cdot \right $																			6年治職	7年記載の1	THE WATER							
ţg	H7⊈(,	7 0 / 7								***************************************						一 化学1與型		新 ちつ 歌覧												
R	H6±(1994)	ŀ	7 7			94/8													九十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十												
	H5⊈(1993)		4 / 0 1	11/6	11/6		9/11	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	3/1	11/6	11/6	11/6	11/6		11/6	11/6	9:	11/6	9/11	9/11	9/11	11/6	11/6	11/6	11/6
	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	0/0%	ĸ		領水與	岩人茶	lĸ	〇九林祁	μŞ	Þ	4	幽	H	張		Or R	投辦弊	: '			i	製配化	걸 1	C (C (C	<u></u>	幺	ŭ	◎甘油原		Ħ	
-	.	:協			भए		┢			•	₩		بج		₽¥		:		· :	1		: •	នេ		Ħ		鯸		Ħ		

格			政策を執了政策を存入、政策に関するコメント等		,	(CICA型の貯物利)函額					· ·					-222	· 				\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ころく				
11 14		田な印象形				學學學位因		\ \ \ !							1	持見方面			11 第 作 10	1000年100日	有 是 对 图 图 对 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图					
	ſ	新				4					:				(10 35			1) d	D (n N				
		H10£(1998)	4 7 0											_		} 	 	<u> </u>				<u> </u>	 			:
		H9£(1997)	4 7 0 1							8//8	97/8														97.6	9//6
	共	H8⊈(1996)	4 7 0 1	47																						
	t ei	H7\$(1995)	1 0 7 7			3	上	95/8	95/8		:														95/11	
		H6£(1994)	1 0 7 8	·																						
:		H5%(1993)			97.1	9/11	2					11/6	11/6	11/6	11/6	9/11	11/6	11/6	11/6	11/6	9/11	11/6	11/6	11/6		
		计解件	C/P给	I W	4	野	•			置田	燠	配头验	の事件数	吳熊數	科 经	(A)	金田路	の配無税		◎范康華	特別等	联系	小村子	每晚只	j j	展 強
		\$	山	1					松			;	锹		選		H									:

〇日は派遣専門家が直接指導したがクンターバートではあるが、JICA赴日母春の経験はない。

⁽註2)分野は原則として、日本人専門家の超当分野(指導科目)に対応させる。 ●日はJICA共日母券政で退職したおグンターバートである。

(4)供与機材管理状況一覧表

最終調查四用資料

平成5年度供与機材の利用・管理状況

			1		*					
神	被材名	メーセー名・形以第	₩ (H) (H)	软中数	処分数 現有数		地)用(新黎)基別	光光光光	角型状況	織地(特記爭項)
J93A001-01 J93A001-02	HPLC LC-10A	日洋インクラチック	324.2	ო	0	ന	方六式 补补和 十二解 翻翻树	₹ 4	∀	
J93A002	HPLC LC-10A	開帯グルジェント以	301.8	-	-	,	中漢葉	А	ස	ボンブの音が異常で、 修理の必要がある。
J93A003	ガスクロマトグラフ(GC-14 R TCD+FCD)	* 新聞	881.042	Į,	0	1	中乘室	٧	∢	
J93A004-01 J93A004-02	D複数外分光光度計(UV-	裁圖	234,996	2	0	2	允举口雅 中凝棄	A	٧	
J93A005-01 J93A005-02	自動滴定装置(DL-25)	メトラー	153.2	7	٥	7	化学二键 生化酶	A	∢	
J93A006-01 J93A006-02	電子天秤(AE-240)	メトラー	30.94	2	0,	2	た¥− と¥ 	∢	∢	
J93A006-03 J93A006-04 J93A006-05 J93A006-06	電子天祥(AE100)	メトラー	2.23	ഗ	0	ഗ	中 抗 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化	∢ :	∢	
J93A008-01 J93A008-02 J93A008-03 J93A008-04	物理天秤(80-601)	メトラー	6.68	ဟ	0	ഗ	次化式 学学生生 一二素化素 基础室	∢ .	∢ :	
J93A010:	治哲語環境心機(3K12)	29.4	182.59		0	-	生化定	∢	∢	
J93A011	小型流心機(H-11NA)	SINGLE	12.74	-	٥	-	中楽室	∢	∢	
J93A012-01 J93A012-02 J93A012-03 J93A012-04 J93A012-05	恒温火槽(FT-U/BU)	FRIGOMIX	45.48	ហ	0	ည	7. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.			

					4					
9	Q #	財計省. ターモ	通		₫		出班(中华)知识	京共田家	金田茶店	海州(特別財局)
柳	数之心		(田 (田 (日	供与数	岛公数田	現有数		2000 1101.4	100 H	E
J93A013-01 J93A013-02 J93A013-03 J93A013-04	ロータリーエバボレーターR ー(114ーVW-SPECIAL)	整 田 存	41.12	S	0	rs.	中 	< <	. ✓	た体1年のエスポフータ が破壊した。
J93A014-01 J93A014-02 J93A014-03 J93A014-04	PHX-%-(AC-10)	FISHER	14.52	ល	0	ഗ	七七七十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	∢ .	∢	中薬室の電極が破損した。
J93A015-01 J93A015-02 J93A015-03	恒温乾燥機(DN-44)	かなた合	31.75	т	0	ო	化学二率(2 60) 在化摩	∢	ব	
J93A015-04 J93A015-05 J93A015-06	恒温乾燥機(DN-64)	本みってか	36.89	ო	0	3	方式 打工 一 無 解 解 解 解	∢	∢	
193A009	FTIR-8101	裁問	435	-	0		化华二酸	∢	∢	
J93A016-01 J93A016-02 J93A016-03 J93A016-04	マッフル炉(FMー28)	サマト化学	33.76	4	0	4	存分 补补 一叶 一叶 一叶 一叶 一叶	∢	∢ .	
J93A017-01 J93A017-02 J93A017-03	振蕩機(SA-31)	ケレト化科	19.65	က	0	က	64年 日曜 村 村 田 瀬 田 瀬 田 瀬 田 瀬 田 瀬 田 瀬 田 瀬 田 瀬 田 瀬	∢	4	
J93A018-01 J93A018-02 J93A018-03 J93A018-04 J93A018-05	超音波洗净槽(SU-6THE)	然 田 姓	20.45	v.	0	ശ	令 分 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	∢	₹ .	

最然超稱阿哥資料

#号 機材名 メーカー名・形式等 単価 193A019-01 ホットブレート(NPー6) 柴田科学 10.83 193A019-02 ホットブレート(NPー6) 柴田科学 10.83 193A020-01 マクネッチックスターラ(MGP 柴田科学 1.92 193A020-02 マクネッチックスターラ(MGP 柴田科学 1.92 193A020-03 アンイルターホルダ(47 柴田科学 6.45 193A021-05 アC フィルターホルダ(47 柴田科学 6.45 193A021-05 カスカン2-02 193A022-03 ターラ(MHー81) ヤマト化学 14.01 193A022-05 193A022-05 カスカン2-05 193A022-05 193A022	メーカーの・形	杂 林 教	数量 処分数 現有数		赵田 末院	西温状泥	(特) 阿尔斯特·人格·维尔
ホットブレート(NPー6) 柴田科学 10.83 マグネッチックスターラ(MGP 柴田科学 1.92 -101) 新田科学 1.92 mm) キマト化学 6.45 mm) カマト化学 14.01 東空ボンブ(PS-07) ヤマト化学 5.75	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	辛中教			_	35410	
ホットプレート(NPー6) 柴田科学 マグネッチックスターラ(MGP 柴田科学 ー101) 柴田科学 SPC フィルターホルダ(47 柴田科学 mm) ホール) ヤマト化学 ターラ(MHー81) ヤマト化学 真空ポンプ(PSー07) ヤマト化学	张 田 本 本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	· 					
マグネッチックスターラ(MGP 紫田科学 -101) 紫田科学 SPC フィルターホルダ(47 紫田科学 mm) カーラ(MH-81) ヤマト化学 真空ポンプ(PS-07) ヤマト化学	整 报 经	တ	S	た か か サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ サ	∢	∢ .	
SPC フィルターホルダ(47 柴田科学 mm)	1	r3 2	0	かれた 学学生 11条 11条 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 変数 数数 数数	∢	∢	
電気加熱マグネッチックス ターラ(MM-81) ターラ(MM-81) カマト化学 真空ポンプ(PS-07) ヤマト化学	柴田科学	v	٠ 0	かかれ 学学生 サイン サール 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	· •	∢	七学1室のフィルターホ ルダか(波費した。
真空ボンブ(PS-07) ヤマト化学	ヤマト化学	31	\$	た	∢	∢ :	:
VO_2000 x 001	ヤマト化学	က	0	4 十 十 分 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	∢	∢	
J93A023-05 真空ボンプ(PS-22) ヤマト化学 8.37 J93A023-06	サマト化学	7 3	0	六六花 朴朴和 「二米 関極関	∢	∢ .	
J93A024-01 J93A024-02 J93A024-03 試験管混合器(G-56O) J93A024-06 J93A024-06		v	9	方 方 一 本 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	A	

最終調養回用資料

平成6年度供与機材の利用・管理状況

極来(特別神通)			7.2														
中国等点		∢	4	4	∢	∢	∢	A	∢	∢	∢	4	∢	∢	∢	4	⋖
京井田田	300000	4	٨	∢	∢	4	٧	∢	∢	A	4	∢	∢	∢	4	4	∢
地野(製改)馬哇		中	化举二国	化学二葉	抗生素量	生化室	打任来保	抗生素解	抗生素強	抗生素室	抗生素室	抗生素蜜	抗生素室	抗生素室	抗生素室	六六 针补 川	4
14	現有数	1		#	-	-	-	2	63	1	1	2	-		-	2	-
数量	処分数	0	0	0	٥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
	供与数	1	1	-	-	-		2	2	,	• <u>•</u> •	2		-		2	,
通	E E	840	679.21	668.3	7.507	801.6	117.69	142.9	121.35	45.1	49.4	24.4	51.5	37.7	48.2	15.2	700
	メーカー的・杉以単一	· ·	無		システムサイエンス	日製産業		サルトリウス	本のト化学	ヤマト化科	サント化学	ヤマト代学	サント化学				
	視材名	原子吸光(Z-8200)	HPLC LC-10A	微粒計数器	四雙屆上田堂紀被職(ZAE) NE)	福光年(ハーキンエ)シャー241)	自動円衛設置器	無菌試験用フィルターホルダー	クリーンペンチ(PCV−130 ANG3)		高压滅菌器(SP-52)	乾燥減膨器(SH-62)	低温培養器(SL-62)	荷敷器(IC−800)	沧凍格機器(MIR−252)	大浴槽(BF200/BZ200)	
	神中	194A001	J94A002	J94A003	J94A004	J94A005	J94A006	J94A007-01 J94A007-02	J94A008-01 J94A008-02	J94A009	J94A010	J94A011	J94A012	J94A013	J94A014	J94A015-01 J94A016-02	67490

服然超海四田資本

ía											ر ب پ		···.		1	:
¥ ₩ E ₩ # #	死んったのかもない					٠					学師にとにこむずり					;
Į.	記れ								-		数例					
D. E.	国法外况	4	4	∢	∢		∢				∢				∢	4
9 9 8	KKE K	4	∢	∢	∢		₹		:		∢				∢	4
	是是(阿米)进行	東理室	:	5.5 4.4 11 開網	中機開合作	拉 中	5.5 叶叶 叶叶	無 養理 基		中景閣抗任紫朝	分分 分子 ↓ □ 例酬	無			生化整	抗生素瘤 中薬糖
,		1		7	2		: •	:			12		:	i		2
数簿	供与数 処分数 現有数	0		O	0		0				0			:	0	0
	铁与数	1		2	2		တ	÷	ı		12				1	7
選	(H.)	41.3		122.55	14.45		4.75			:	3.015				79.2	102.85
	メーセール・形料師	十四八十		ールよべ			サレて分科				ンコレックス					NIKON
	梅左名	(MDF-U536D)		自動滴定装置(DL-25)	済港クロマト装置(HC-20)		独光紫华被出端(CN-6T)				√剉⊁ートポペッター(501. 101)				面井光核田聡(HPLC用RI	偏光顕微鏡(X2TP-2 PO
	椰	J94A017		J94A018-01	J94A019-01 J94A019-02	J94A021-01	J94A021-03 J94A021-04	J94A021-05 J94A021-06	J94A023-01	U94A023-03	J94A023-06	J94A023-08	J94A023-10	J94A023-11 J94A023-12	J94A020	J94A022-01 J94A022-02

*	数量 数量	一名·形式等 (万円) 供与数 见分数 現有数 利用(珠司/場所 利用4水) 自主的机	日立製作所 207.3 1 0 1 化学一室 A A	BUCH! 63.3 1 0 1 化树二槲 A A	中漢章 抗性素章 東亜電波 23 5 0 5 化学一覧 A A 化学二章	中	中 対 が か マ マ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
			可視紫华公光光度計(UV-) 3200)	融点測定器(535)	РНХ—Я—⟨НМ—40V⟩	************************************	所。 (DOW/100)

曼格盟南国王斯

平成7年度供与機材の利用・管理状況

			推理		数量			0. H	—————————————————————————————————————	(明明日本代) 中线
糊	数女名	メーセール・坊界解	(E) (E)	东中教	処分数	現有数	長野(加米)更富	1000年	日子公元	in to the south of the
J95A001	自動染色装置(DRS-601A)	サクラ精機	230.4	1	0	1	薬理室	∢	4	
J95A002	盐獭克头黎姆(RH-12EP-1)	サクラ潜機	98	ı	0	-	英理室	٧	Ą	
J95A003		サクラ精機	69	-	0	-	英理室	4	4	
J95A004	労田試験器(NTR-6100)	国山産業	161.4	1	0		化林二國	∢	∢	
J95A005	オートサンプラー(PAS-615)	阿山液業	261.8	ı	0	-	分 11 例	4	∢	
J95A006	70-4/L(Dissotest-100)	五山産業	157.8	l.	0	+-	化林二轴	4	∢	
J95A007	崩壊試験器(NT-60)	第二座	88.5	1	0	-	44一桶	4	∢	
U95A008-01 U95A008-02 U95A008-03 U95A008-04	崩壞試褻器(NT-20)	題 山路	43.9	ស	0	ıs	5.4 5.4 5.4 5.4 5.4 5.4 5.4 5.4 5.4 5.4	* ∢	∢	
J95A009	恒温恒温槽(LH20—14M)	ナガノ科学	245.2	1	0	-	化砂川桶	∢	4	
J95A010	光安定性試験器(LT-120)	ナガノ科学	241.5	1	0	-	化华二唑	∢	∢	
J95A012	HPLC LC-10A	開催グラジェンド共	129.8	1	0	-	英理室	∢ .	4	
J95A013-01 J95A013-02 J95A013-03 J95A013-04	HPLC LC-10A	島津イソクラチック 式	279.73	4	. 0	4	花 名 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	∢	4	
J95A011	キャピラリー電気泳動装置 (3D-CE)	d T	841		0	-	化学二种	∢ .	4	
J95A015	自動窒素測定装置	Buchi	441,4	-	0	_	生化建	∢	A	

数核包数四用資料

			通		数量		点法田南 岩壁(地位)田南	新田 第 日本 日本	0. 米四电	海州(特記) 海南
中	機材名	メーセー名・おり事		铁中数	共与数 処分数 現有数	現有数	Maria Maria Maria	TO COLUMN TO THE PARTY OF THE P	700 H	
					l					
J95A016	浸透压潮定器(OM801)	フォーゲル	167.99	•	0	 -	6年11種	¥.	∢	

基層壓用附屬緊聯

平成8年度供与機材の利用・管理状況

(野科(教育)科理)						故障がある。(終点まで に行かない)						4 1
10年期	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	∢	4	∢	∢	A 程介	A	∢	4	A	4	Ą
		4	∢	4	∢	œ	∢	∢	4	4	∢	4
京本田本 岩野(多数)田本	io Franki Es	東理室	生化警	任代職	中漢姆 抗生素室 化华一菌 化华二菌 生化增二菌	抗生素	任代關	抗生素筐	化学二 蟹	中凝室	抗生素室	中 一 一 一 一 一
Ï	現有数	- -	1	**	y ·•	, -	v -		,	-	,-	1
数量	処分数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	供与数	1	-	-	တ	1	-	·	-	-	2	2
垂	(AII)	754.28	39.5	213.27	7.38	95.44	76.35	117.6	120.6	615.9	585.7	30.8
	メーと一名・杉里の一	日本光観	日本生物化学	Wellreader	e ingle	ーレイメ	Perkin elmr	無明	無	幾個	幾個	久保田
	版左名	ポングラフシステム(RM-6000)	凍結乾燥機(DO-41B)	マイクロブレートリーダー (SK601)	天秤用プリンター(LC-P4 5)	カー・プレイシンキー 当所端 (DL-18)	サーマルサイクラー (GeneAmp PCR S.2400)	ガスクロマトグラフ(GC- 14BPF)	ガスクロマトグラフ(GC- 15BPF)	HPLC(シングルボンブ)	HPLC(ダブルボンブ)	(MV) (MV) (MV) (MV) (MV)
	神 卟	J96A001	J96A002	J96A003	J96A004-01 J96A004-02 J96A004-03 J96A004-04 J96A004-05	J96A005	J96A006	J96A007	J96A008	196A009	J96A010-01 J96A010-02	J96A012-01 J96A012-02

最終調查回用資料